社会学研究科 博士(後期)課程

授業科目名	比較	較社会学特殊研究 (大学院授業)			担当者 赤坂 真人						
配当学科・研究科	201	1~ 2022年度 吉	備国際大:	学大	学院 社	:会学研究科	ナンバリング				
配ヨ子科・研究科	社会	会学博士1年) ノハリン						
必修・選択	遅	訳	単位数	数	2単位		時間数	30		授業形態	講義
年次	1年			開請		2022年度春学			曜日	・時限 火曜3	限
		4. 質の高い教育	育をみんな	なに/	16.	平和と公正を	すべての人に				
SDGs関連項目		4 RORURRE 16 TRICOZE									
到達目標		講義する。この記 たかについて学。 到達目標	講義は社会 ぶ。)基礎理論	会学の	歴史を理要を理	学び、かつ理 誤解することが	論家たちがどの	ような	問題を	どのような方	原典を参照しながら 法で解明しようとし 対象であり、それを
授業概要		産主義の始祖カーウェーバー、彼とマルクス・ウェー学にシムテム分析ウェーバー・デニルコット・パーン徴的相互作用主義社会学の始祖アリ	ール・スパーマル・シボーン ない 一で ぶれ 一 で	レ土迷 しムコ しドーク会承、、バ た・ジーン 社 パーハ シ	、そし の巨人 でイテ 会シート ・ト・マー ・・・・・	て資本主義社: エミール・デ オロギー問題: テム論の先駆! を再解釈し行? ・ト・ブルーマ・、、会話分析の!	会の到来を別のミュルケーム、ミを知識社会学のけとなったヴィ為理論を完成し ソンズ行為のでいた。 一、行為のくまには、 手法に基づくエ	視の分ル、、的スクサンやジランの	から分ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	した社会科学 一般を築いたゲール パレートにつ デシステム理論 アハーバート・ てパーソンズ ジーという理	主義からはじめ、共 の巨人マックス・ ・ オルク・ジンメル。 ・ マンハ 義 ま した な を 展開 した して 象 と 論争 した た 現象 中 が に を 様 楽 に で ・ ギデンズ に つ
アクティブラーニン: 内容	グの	ディスカッション	//プレt	ゼンテ	ーショ	ン					
評価方法と割合		小テスト(4	0%) 試馬	験(60 	0%) (: 	よって評価す	る。課題や小論	除文はi	平価 して 	て返却するので	必ず復習すること。
ルーブリック評価											
課題や試験のフィー	ド	講義の単元が終	冬了するこ	ごとに	論述式	の小テストを行	行う。学生は解	答を教	(員のメ	ールボックス	に提出する。教員は
バック方法				-	-					いかない場合、	学生は教員のコメン
		トに反論すること									
,		かなり抽象的で	で難解な詩	構義で	ある。	順番に梗概を	作成し、発表し	てもら	うので	担当者はテキ	ストを読み、レジュ
履修条件・注意事項		メを作成すること	- 0								
事前学習・事後学習の時間	とそ	毎学期中、予	予習と復習	習には	(各2時	間程度を要する) 0				
オフィスアワー		./√ 曜 // RE (15	: 10~10	6 • 10) /- II	一究室(9309)	にて宇協せる				
37177		八曜47収(15	. 10. ~10	授業		ブレ王 (3003)	にく大心りる。				担当者
1.サン=シモン(産	主業 =	主義)		以未	山門					赤坎	
2.コント (社会再権										赤坑	
3.カール・マルクフ										赤坑	
3.カール・マルクク 4.ウェーバー (観念										赤坎	
5.デュルケーム(社										赤坑	
6.ジンメル (社会化										赤坎	
6.シンメル (在会1) 7.パレート (社会)											
. ,,==.										赤り	
8.パーソンズ(構造		,								赤り	
9.キング・マートン										赤 5	
10.G.H・ミード										赤坑	
┃ 11.ブルーマ(象徴	、ロソ作目	±TFHI)								赤坑	X

13.ガーフィ 14.バウマン 15.ブルデュ	(現象学的社会学) ンケル (会話分析) (液状化する社会) ーとギデンズ : (筆記試験)		赤坂
教科書			
教・書籍名1	現代の社会科学者	教・出版社名1	講談社学術文庫
教・著者名1	富永健一	教・ISBN1	978-4061453793
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1	社会学の歴史	参・出版社名1	東京大学出版会
参・著者名1	奥井智之	参・I S B N 1	978-4130520232
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	比較社会学特殊研究	交社会学特殊研究Ⅱ (大学院授業)			担当者 赤坂 真人				
配当学科・研究科	2011~ 2022年度 吉 社会学博士1年	備国際大学 大	、学院 社	会学研究科	ナンバリン	ノグ			
 必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業	形態	講義
年次	1年		講期	2022年度秋学			曜日・時限		
SDGs関連項目	4. 質の高い教育 4 SABLESSE 10 ASSESSES 4 SABLESSES 10 ASSESSES	,	/10.	人や国の不平等	等をなくそう/	´16. ₹	平和と公正を	すべて(の人に
到達目標	枠組みを学習する 到達目標 これまで社会 のが常であった。 マートン(機能3 システム論)に気	る。 会学理論の学習 本講義ではら 主義)、H.ブル 焦点を定め教芸	習はマッ これらの レーマー 受する。	・クス・ウェー。)古典的巨人に ・(象徴的相互(この科目は中 ^島	バー、エミール もふれるが、主 作用主義)、K 学公民と高校地	・・デュリ Eにその役 .マンハィ b歴の専修	レケーム、カ 後の展開、タ イム(知識社 多免許を取得	ール・ [・] ルコッ 会学)、 するた	社会学の理論的準拠 マルクスから始める ト・パーソンズ/R.K. N.ルーマン(社会 めの必修科目であ
授業概要	る間は、社会学に 属変数である構成の巨人がどのよう	は存在しない。 成員の行動が?	主権者 央定され	ずである市民が れるというアイ:	構成する市民社 デアのもと社会	よ会があり ☆学は成立	J、その市民 立する。この	社会が	いると考えられてい 独立変数となって従 はそれぞれの社会学
アクティブラーニング	グの ディスカッション	 ン/プレゼン :	_ _ テーショ	<u>—</u> 」ン					
内容 評価方法と割合	小テスト (4	10%) 試験(6	60%) i	こよって評価す	る。課題や小詞	倫文は採り	点して返却す	るので	必ず復習すること。
 ルーブリック評価									
課題や試験のフィー	ド講義の単元が終	終了するごと!	こ論述式	じの小テストを行	行う。学生は解	『答を教員	員のメールボ	ックスし	に提出する。教員は
バック方法	採点し、それに4	100字程度の=	メント	書いて学生に返	区送する。コメ	ントに納	得がいかなし	、場合、	学生は教員のコメン
	トに反論すること	とができる。扌	教員はそ	れに対しても:	コメント書き返	逐送する。			
履修条件・注意事項	かなり抽象的	りな文献を読る	み、議論	計ることになる	るので、十分子	習するこ	こと。		
事前学習・事後学習で の時間	とそ毎学期中、予	習と復習には名	各2時間	程度を要する。					
オフィスアワー	火曜4限(1	.5:10~16:	40) にそ	研究室(9309)	にて実施する	0			
		授美							担当者
1.社会学の理論と方	方法							赤坂	ξ
2.カール・マルクス	ス (史的唯物論)							赤坂	ξ
3.マルクス(絶対的	33(3310							赤坂	Ī
	-バー(観念史観・理	解社会学)						赤坂	
5.ウェーバー(行為								赤坂	
6.ウェーバー(支酢	- ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	`						赤坂	
	レケーム(社会的事実 ±会の統合とアノミー	,						赤坂	
8. デュルケーム (A 9.カール・マンハイ)						赤坂	
	「ム (知識社会子) ニソンズ (社会的行為	ちの構造)						赤坂	
11.パーソンズ(社		19 07 1丹/巨/						赤坂	
12.パ [^] ソンズ(AC								赤坂	
13.R.K.マートン(中範囲の理論)							赤坂	
14.H.ブルーマー (象徵的相互作用主義)							赤坂	Ī
15.N.ルーマン(社	会システム理論)							赤坂	₹
16.定期試験								赤坂	₹
*たてい 書									
教科書									
	学の方法						数・出版社名 教・ISBN		ミネルヴァ書房

教・書籍名2	社会学	教・出版社名2	岩波書店
教・著者名2	筒井淳也	教・ISBN2	978-40000269971
参考書			
参・書籍名1	社会的行為の構造	参・出版社名1	木鐸社
参・著者名1	タルコット・パーソンズ	参・ISBN1	絶版
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	_

授業科目名	比較社会学特殊研究	Ⅲ (大学院授業)	担当者 李 分一				
#7 \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	2011~ 2022年度 吉	備国際大学 大学院 社会学研究科	13.3113.5	, v			
配当学科・研究科	社会学博士1年		ナンバリング				
必修・選択	選択	単位数 2単位	時間数 30	授	業形態 講義		
年次	1年	開講期 2022年度春	学期	曜日・時限	月曜1限		
	5. ジェンダーュ	平等を実現しよう/9.産業と技術	뜃革新の基盤をつく	ろう/10.人*	や国の不平等をなくそう/1		
	6. 平和と公正を	をすべての人に/17.パートナー	-シップで目標を達	成しよう			
SDGs関連項目	5 ヴェンダー平等を 9 産業と技術事態	10 人で国の不平等 16 平和と公正を 17 パートナーショブで 日本を確保しよう					
	© **	(⊕) ★ (※)					
	+ **	<u> </u>					
		ーマは、「比較研究」とする。					
		る社会現象の理解と説明の能力を					
到達目標		ての本質的探究と共に、その現象 <i>の</i>	う特殊(特徴)性と	普遍(一般)性を	を理解する上で、最も重要な		
	方法である。	* / * II.++ * * * * I += * * * * * * * * * * * * * * * * * *	\\ \ \\ \ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\		· 2		
		€々な比較の手法と視点、そして方 ♪ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		上させることにあ	oる。この講義を 党講すれは 、		
		と国際比較をも含む比較論の意味が					
	7,7,2,7,4	主に「国際比較」の方法論とその意			** 14 14 14		
授業概要		ニ国間または二国間以上の比較研究 (事例研究)がある。具体的な方法	,				
		(事例研究)がめる。呉体的な万万 範論的な分析などがある。この研究					
アクティブラーニン		#ピṇṇṇ ト ア ゙ィス 「 イス 「 イス 「 イス) つ。 こり釘チ	しては、刈りに舶当	こル#X y 1いは尺し	・シルで述して119だい。		
クライクラーラ 内容	ディスカッション	ン/ディベート/プレゼンテーショ	ョン				
評価方法と割合	定期試験 (60%)) と提出物(40%)によって評価で	 する。提出物に対す	- るフィードバッ			
ルーブリック評価	72703 p-0/3/2 (0070)) CIRCIN (1070) 10 00 7 CITIES) 08 JACH (3) (-7.))		> 101XX 1011 > 0		
課題や試験のフィー	F						
バック方法	授業時間やオフィ	ィスアワーを利用してフィードバッ	/ クを行う。				
尼 梅女儿	(1)講義後に	 は、講義内容に関するミニレポート	、を提出しなければ	ならない。			
履修条件・注意事項	(2)単位認定語	試験を行うので、必ず受けることだ	が必要である。				
事前学習・事後学習	とそ (1)参加型講	義であるために、受講者は事前課題	夏を調べた上で参加	すべきである。言	講義は、この課題をめぐって		
の時間	討論形式で行う。						
	(2) 受講生の	予習(30時間)と復習(30時間)(のために、トピック	別の宿題とレポ	ートを課す。		
オフィスアワー	水曜日5時限目	(9304研究室)					
		授業計画			担当者		
1.なぜ比較するのか					1.李 分一		
2.知の源泉としての」	七 較				2.李 分一		
3.社会的法則の探究	in.				3.李 分一		
4.比較研究者の羅針 5.作業概念					4.李 分一 5.李 分一		
6.理論的枠組					6.李 分一		
7.機能的対応関係					7.李 分一		
8.分析範囲の国際化					8.李 分一		
9.国際比較の基本戦	各				9.李 分一		
10.比較分析の領域区					10.李 分一		
11.比較研究のケース					11.李 分一		
12.二元比較					12.李 分一		
13.類似した諸国の比	:較				13.李 分一		
14.対照的な諸国の比	較				14.李 分一		
15.総合討論					15.李 分一		
16.定期試験					16.李 分一		
教科書							
教・書籍名1 文献お	よび資料は、随時示す	<u></u>		教・出版社	名1		
教・著者名1				教・ISB			
				#/L 111111111111111111111111111111111111	40		
教・書籍名 2教・著者名2				教・出版社: 教・ISB			

参考書		
参・書籍名1	参・出版社名	1
参・著者名1	参・ISBN	1
参・書籍名2	参・出版社名	12
参・著者名2	参・ISBN	2

	授業科目名	比較社会学特殊研究	IIV (大学院授業)	担当者		
対金学・世界 対金学 対金 対金数 2単位 2世位	配当学科・研究科	2011~2022年度 吉	后備国際大学 大学院 社会学研究科	ナンバリング		
存文 1年 36 期期 2022年度秋学期 2022年度秋学期 3 日 3						
5. ジェンダー平等を実現しよう/9. 産業と技術等等の名類をつくろう/10.人や国の不平等をなくそう/16. 平和と公民をすっての人に/17. バートナーシップで目標を達成しよう 「中国と公民をすっての人に/17. バートナーシップで目標を達成しよう 「中国と公民をすっての人に/17. バートナーシップで目標を達成しよう 「中国との場合のデーマは、「日本と社国社会の比較」である。この機像の外国情報は、装画と日本の政治、経済、仕事と比較論に関等させるところにある。日韓関係の比較が応は、外国的情報、共進の文化が、社会的意図(構物、低水、深等、強硬な領域・科学構造など)の存在と、それにもかわからず存在する差異という点で、比较研究上、弥和上面である。まず、比較の方法と考検とで研究し、その後に日韓国をよる方に対する方でデータにながら認識と合う。誤療参加書の図の事に対応しながら、課意をらびに討惑を行うことにする。 アイスカフション/ディベート/ブレゼンテーション 野成治法と社合 「大力カンション/ディベート/ブレゼンテーション 野成治法と社合 「大力カンション/ディベート/ブレゼンテーション 野歌の説のフィード 「大力の方法と考検とでの子の、よの表に日本国をよる、は思わり、投票中にフィードバックを行う。 「フ・フリック評価 理論や政策のフィード 「大力の方法と考検とでイスアワーを利用してフィードバックを行う。 「2)単位が定は認定を与るため、要素自な事所課題を調べたとである。議意は、この課項をめぐっての時間 「2)単位が定は認定を与るため、要素自な事所課題を調べたとである。 「2)単位が定は調整を与るので、必ず受けることが必要である。 「2)単位が定は調整を与るので、必ず受けることが必要である。 「2)単位が定は調整を与るので、必ず受けることが必要である。 「2)単位が定は調整を与るので、必ず対しなければならない。 「2)単位が定は調整を与ってのいまが表に関することが必要である。 「2)単位が定は調整を与るのいまが表に関することが必要である。 「2)単位が定は調整を与るのいまが表に関することが必要に対しないまとして、対していまが表に対していまが表に対していまがままります。 「2)単位が定は対しないまが表に関することが表に関することが表に関すると思うのは関連をしていまが表に関することが表に関することが表に関することが表に関することが表に関することが表に関することが表に関することが表に関することが必要に関することが表に関する。 「2)単位が定式を表に関することが表に関することが表に関する。 「2)単位が表に関することが表に関することが表に関することが表に関する。 「2)単位が表に関することが表に関することが表に関する。 「2)単位のでは関するとは、表に対していまが表に関する。 「2)単位のでは、表に対している。 「2)は、表に対していると述的では、表に対しまでは、表に対している。 「2)は、表に対していると述れている。 「2)			1 1=31	V1 277.1		
8. 0 G a 関連項目	年次					
この講像のテーマは、「日本と韓国社会の比較」である。	SDGs関連項目	6. 平和と公正 5 対 オーマル 9 ポルと 9 ポルトランス	をすべての人に/17. パートナー 10 4080588 16 880088 17 // // 10040861.65			不平等をなくそう/1
ディスカッション/ディベート/ブレゼンテーション ディスカッション/ディベート/ブレゼンテーション アイスカッション/ディベート/ブレゼンテーション アイスカッション/ディベート/ブレゼンテーション 定野試験 (60%) 、提出物(40%) によって評価する。提出物は、授業中にフィードバックを行う。 北京 北京 北京 北京 北京 北京 北京 北	到達目標 授業概要	この講義のテ この講義の到 究は、地理的隣 にもかかわらず まず、比較の方 読しながら議論	ーマは、「日本と韓国社会の比較」 達目標は、韓国と日本の政治、経済 接、共通の文化的・社会的要因(儒 存在する差異という点で、比較研究 法と意義などを研究し、その後に日	F、社会を比較論に理解 教、仏教、漢字、強硬 B上、非常に重要である 韓関係とその比較に必	な親族・村落構造 。 要な最新の資料お	など) の存在と、それ よびテキストなどを購
		グの ディスカッショ	ン/ディベート/プレゼンテーショ	ン		
ループリック評価 課題や試験のフィード パック方法 (1) 講義後には、講義内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。 事前の習・事後学習とそ が論式で行う。 (2) 要素生の予智 (30時間) と復習 (30時間) のために、トピック別の宿題とレポートを課す。 オフィスアワー		宁押封黔(600 /) 坦山物 (400/) I-ト-マ歌/四十	トス 坦山物は 埒安さ	コニフィードバック	を行う
環題や試験のフィード パック方法		止期訊駛(bU%	ノ、灰田物(40%)によつ(評価す	・ つ。 灰出物は、 攵美甲	・にノィートハック	で1J フ。
授業時間やオフィスアワーを利用してフィードバックを行う。 (2) 「講義後には、講義内容に関するミュレボートを提出しなければならない。 (2) 単位設定試験を行うので、必ず受けることが必要である。 (1) 参加型講義であるために、受講者は事前課題を調べた上で参加すべきである。 講義は、この課題をめぐって 討論式で行う。 (2) 受講生の予習'(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿頭とレボートを課す。		ľ.				
できる件・注意事項 (1) 講義後には、講義内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 (2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。 事節学習と表 (1) 参加型講義であるために、受講者は事前課題を調べた上で参加すべきである。講義は、この課題をめぐって 討論式で行う。 (2) 受講生の予習 (30時間) と復習 (30時間) のために、トピック別の宿題とレポートを課す。		授業時間やオフ	ィスアワーを利用してフィードパッ	クを行う。		
(2) 単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。 事前学習・事後学習とそ (1) 参加型講義であるために、受講者は事前課題を調べた上で参加すべきである。講義は、この課題をめぐって 対論式で行う。 (2) 受講生の子習 (30時間) と復習 (30時間) のために、トピック別の宿題とレポートを課す。 オフィスアワー 水曜日5時限目(9304研究室) 授業計画 担当者 1. 日本と韓国社会の組織と個人 2. 等 分一 2. 日本社会の組織と個人 3. 等 分一 4. 日韓両社会の組織と個人 3. 等 分一 5. 日本と韓国の家・家族の特徴 6. 孝 分一 6. 日本の家と親族 6. 孝 分一 7. 韓国の家と親族 6. 孝 分一 9. 日本の材落構造と個人 9. 字 分一 10. 韓国の材落構造と個人 10. 幸 分一 11. 日本と韓国の水会宗教 10. 幸 分一 12. 日本の地域社会と宗教 11. 李 分一 12. 日本の地域社会と宗教 13. 幸 分一 13. 韓国の地域社会と宗教 13. 幸 分一 14. 日本社会の変容 15. 幸 分一 15. 韓国社会の変容 15. 李 分一 16. 定期試験 物・出版社名1 数・書籍名1 数・書籍名1 数・書籍名2 数・書籍名2 数・1 S B N 1 数・書籍名2 数・当 S B N 2 参考書 ・ 書籍名1	· · / / / // //	(1) 講義後に	 は、講義内容に関するミニレポート	を提出しなければなら	ない。	
#前学習・事後学習とそ の時間	履修条件・注意事項				0.1	
対論式で行う。	 事前学習・事後学習				きである。講義は	 、この課題をめぐって
(2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。 ***********************************	の時間				C () 0 0 H1332(10)	(
大曜日5時限目 (9304研究室) 投業計画		(2) 受講生の	予習'(30時間)と復習(30時間)(のために、トピック別の	の宿題とレポートを	と課す。
投業計画	オフィスアワー					
2. 日本社会の組織と個人 2.季 分一 3. 韓国社会の組織と個人の比較 4.季 分一 5. 日本と韓国の家・家族の特徴 5.季 分一 6. 日本の家と親族 7.季 分一 7. 韓国の家と親族 8.李 分一 9. 日本の村落と個人 9.季 分一 10. 韓国の村落構造と個人 10.季 分一 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 11.季 分一 12. 日本の地域社会と宗教 12.季 分一 13. 韓国の地域社会と宗教 13.季 分一 14. 日本社会の変容 14.季 分一 15. 韓国社会の変容 15.季 分一 16. 定期試験 数・出版社名1 数・書籍名1 数・出版社名2 数・書籍名2 数・出版社名2 参・書籍名2 数・ISBN2			授業計画			担当者
3. 韓国社会の組織と個人 4. 日韓両社会の組織と個人の比較 5. 日本と韓国の家・家族の特徴 6. 日本の家と親族 7. 韓国の家と親族 7. 韓国の家と親族 8. 日本と韓国社会の村落と個人 9. 日本の村落構造と個人 10. 韓国の村落構造と個人 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 12. 日本の地域社会と宗教 12. 李 分一 13. 韓国の地域社会と宗教 14. 日本社会の変容 15. 李 分一 16. 定期試験 数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・当 第名1 数・出版社名1 数・書籍名2 数・当 S B N 1 数・書籍名2 数・出版社名2 参考書 参・書籍名1 参・出版社名1	1. 日本と韓国社会	の組織と個人			1.李	≤ 分一
4. 日韓両社会の組織と個人の比較 5. 日本と韓国の家・家族の特徴 6. 日本の家と親族 7. 韓国の家と親族 8. 日本と韓国社会の村落と個人 9. 日本の村落構造と個人 10. 韓国の村落構造と個人 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 11. 日本との地域社会と宗教 12. 日本の地域社会と宗教 13. 韓国の地域社会と宗教 13. 韓国の地域社会と宗教 14. 日本社会の変容 14. 日本社会の変容 16. 定期試験 数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・出版社名1 数・書名2 数・書名2 数・書名2	2. 日本社会の組織	と個人			2.李	≤ 分一
5. 日本と韓国の家・家族の特徴 5.李 分一 6. 日本の家と親族 7.李 分一 7. 韓国の家と親族 8.李 分一 9. 日本の村落構造と個人 9.李 分一 10. 韓国の村落構造と個人 10.李 分一 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 11.李 分一 12. 日本の地域社会と宗教 12.李 分一 13. 韓国の地域社会と宗教 13.李 分一 14. 日本社会の変容 14.李 分一 15. 韓国社会の変容 15.李 分一 16. 定期試験 教・出版社名1 数・書籍名1 数・出版社名1 数・書籍名2 数・出版社名2 数・著者名2 数・1 S B N 1 参・書籍名1 参・出版社名1	3. 韓国社会の組織	と個人			3.李	≤ 分一
6. 日本の家と親族 7. 韓国の家と親族 8. 日本と韓国社会の村落と個人 9. 日本の村落構造と個人 10. 韓国の村落構造と個人 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 11. 中本の地域社会と宗教 12. 中本の地域社会と宗教 13. 韓国の地域社会と宗教 14. 日本社会の変容 15. 韓国社会の変容 16. 定期試験 数・書籍名1 数・書籍名1 数・書籍名1 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2	4. 日韓両社会の組	織と個人の比較			4.李	≤ 分一
7. 韓国の家と親族 8. 日本と韓国社会の村落と個人 9. 日本の村落構造と個人 10. 韓国の村落構造と個人 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 11. 本 分一 12. 日本の地域社会と宗教 12.李 分一 13. 韓国の地域社会と宗教 14. 日本社会の変容 14.李 分一 16. 定期試験 数・書籍名1 数・書籍名1 数・書籍名1 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2	5. 日本と韓国の家	・家族の特徴			5.李	多一
8. 日本と韓国社会の村落と個人 9. 日本の村落構造と個人 10. 韓国の村落構造と個人 11. 日本と韓国の地域と宗教文化 12. 日本の地域社会と宗教 12.李 分一 13. 韓国の地域社会と宗教 13.李 分一 14. 日本社会の変容 14.李 分一 15. 韓国社会の変容 16. 定期試験 数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・出版社名1 数・著名名1 数・書名2 数・出版社名2 数・著者名2 数・出版社名2 数・著者名2 数・出版社名2 数・書籍名1 参・出版社名1	6. 日本の家と親族				6.李	≤ 分一
9. 日本の村落構造と個人 10.李 分一 1 0. 韓国の村落構造と個人 10.李 分一 1 1. 日本と韓国の地域と宗教文化 11.李 分一 1 2. 日本の地域社会と宗教 12.李 分一 1 3. 韓国の地域社会と宗教 13.李 分一 1 4. 日本社会の変容 14.李 分一 1 5. 韓国社会の変容 15.李 分一 1 6. 定期試験 16.李 分一 数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・書籍名2 数・出版社名1 数・書籍名2 数・出版社名2 数・著者名2 数・出版社名1 参・書籍名1 参・出版社名1	7. 韓国の家と親族				7.李	≶ 分一
1 0. 韓国の村落構造と個人 10.李 分一 1 1. 日本と韓国の地域と宗教文化 11.李 分一 1 2. 日本の地域社会と宗教 12.李 分一 1 3. 韓国の地域社会と宗教 13.李 分一 1 4. 日本社会の変容 14.李 分一 1 5. 韓国社会の変容 15.李 分一 1 6. 定期試験 16.李 分一 枚・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・書籍名2 教・出版社名1 数・書籍名2 教・出版社名2 数・著者名2 教・出版社名2 参考書 参・出版社名1	8. 日本と韓国社会	の村落と個人			8.李	≤ 分一
1 1. 日本と韓国の地域と宗教文化 1 2. 日本の地域社会と宗教 1 3. 韓国の地域社会と宗教 1 4. 日本社会の変容 1 4.李 分一 1 5. 韓国社会の変容 1 6. 定期試験 1 5. を対している。 対しいでは、対しいいでは、対しいでは、対しいでは、対しいでは、対しいでは、対しいでは、対しいでは、対しいでは、対しいでは、対しいは、対しいでは、対し	9. 日本の村落構造	と個人			9.李	≤ 分一
1 2. 日本の地域社会と宗教 12.李 分一 13. 韓国の地域社会と宗教 13.李 分一 14. 日本社会の変容 14.李 分一 15. 韓国社会の変容 15.李 分一 16.李 30	10. 韓国の村落構	造と個人			10.	李 分一
1 3. 韓国の地域社会と宗教 13.李 分一 1 4. 日本社会の変容 14.李 分一 1 5. 韓国社会の変容 15.李 分一 1 6. 定期試験 16.李 分一 数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・著者名1 数・日 S B N 1 数・書籍名2 数・出版社名2 数・著者名2 数・日 S B N 2 参考書 参・出版社名1 参・書籍名1 参・出版社名1	11. 日本と韓国の	地域と宗教文化				*
1 4. 日本社会の変容 14.李 分一 1 5. 韓国社会の変容 15.李 分一 1 6. 定期試験 16.李 分一 数科書 数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・出版社名1 数・著者名1 数・ISBN1 数・書籍名2 数・出版社名2 数・著者名2 数・ISBN2 参考書 参・出版社名1 参・書籍名1 参・出版社名1	12. 日本の地域社会	会と宗教			12.	李 分一
15. 韓国社会の変容 16. 定期試験 15.李 分一 16. 定期試験 15.李 分一 16.李 分一 16.李 分一 16.李 分一 15.李 分一 16.李 分一 15.李 分一 16.李 分子 16.李 小	13. 韓国の地域社会	会と宗教				
16. 定期試験 教科書 数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・出版社名1 数・著名2 数・出版社名2 数・出版社名2 数・著名2 数・1 S B N 2 参・書籍名1	•					
数		容				
数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・出版社名1 数・書籍名1 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・出版社名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・ISBN2 参考書 参・書籍名1 参・出版社名1	16. 定期試験				16.	李 分一
数・書籍名1 文献および資料は、随時示す。 数・出版社名1 数・書籍名1 数・書籍名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・出版社名2 数・書籍名2 数・書籍名2 数・ISBN2 参考書 参・書籍名1 参・出版社名1						
数・著者名1 数・書籍名2 数・著者名2 数・著者名2 数・著者名2 参考書 参・書籍名1 参・出版社名1	•	よび資料は、随時示	す。		教・出版社名1	
数・書籍名2 数・出版社名2 数・著者名2 数・ISBN2 参考書 参・出版社名1	教・著者名1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
数・著者名2数・ISBN2参考書参・出版社名1	教・書籍名2				**	
参考書 参・書籍名1 参・出版社名1	教・著者名2					
参・書籍名1 参・出版社名1	参考書					
	参・書籍名1				参・出版社名1	
	参・著者名1				参・ISBN1	

参・書籍名2	参・出版社名2	
参・著者名2	参・ISBN2	

授業科目名	地域社会論特殊研究	或社会論特殊研究 I (大学院授業)				担当者 高橋 正已				
配当学科・研究科	2011~2022年度吉	11~2022年度 吉備国際大学 大学院 社会学研究科			٥					
	社会学博士1年	会学博士1年 								
必修・選択	選択	単位数 2.	単位 ————————————————————————————————————	時間数 30) <u> </u>	授業形	態講義			
年次	1年	開講其		, , , ,	1,211	. 3120	中講義			
	• •				• • • • • •		なくそう/11. 住み続			
	けられるまちづ	くりを/12.つ	くる責任・つかう	責任/17.パー	トナーシッ	ップで目標:	を達成しよう			
SDGs関連項目	3 すべての人に 4 質の高い教育を 4 あんなに	10 人や国の不平等 11 性み続けられる をなくそう 11 まちづくりを	12 つくる責任 17 パートナーショブで つかり責任 18単年達成しよう							
	<i>-</i> ₩• □	│ ↓								
		· ·								
			るモノからサービ							
			って欠かせない サ	ービス」を理解し	、それを表	考えて今後(の社会経済を構想できる			
到達目標	人になることを		田ナエット こによ	, Fu .>	パロ小のも	1 4 47 7 5				
		_		_			ステムのトップに躍り出			
					である。そ	てれ政、現代	代の社会経済システムの			
			に学生と一緒につ		7 1.1 1 1 - 4		<u></u>			
							財を短時間で生産してし する会社から見れば財を			
			-				する会社から見れは別を が発生する。ところが、			
授業概要	, , .						が完全する。ところが、 ごス」はこれまで軽視され			
J文本/N.女							りつつある。これは現在			
							業構造という視点から新			
		_	たことを論じる。			1 30 M C /11.				
アクティブラーニン	グの									
内容	ディスカッション	ン/ブレゼンテー	ション/その他の	アクティブラーニ	ング(複合	合的なもの	等)			
=T/m-1 \ 1 du A	講義への意見や飼	態度に10点、読書	まレポート(レジュ	メ)、小論および	報告に60.	点、および	小試験に30点で、これを			
評価方法と割合	総合的に評価する	3。								
ルーブリック評価										
課題や試験のフィー	ド「小論試験」やし	ジメかどけ日時を	指定して本人に返	切する						
バック方法	171、加西西州	/ / / A C / A D N E	旧足して个八に区	42.9.20						
	受講する学生と	相談の上、講義利	用の文献を決定す	る。この文献の他	、参考文献	状をとり上り	げてあるので、それらを			
履修条件・注意事項							どの整理や内容の吟味を含			
			る学生たちと相談							
							るように、書籍や資料に			
の時間							し、それをまとめておく			
1			時間と講義終了後	こは復習2時間を	やること。					
オフィスアワー	火曜日 昼休みと	4 時限目(125 授業計	·				担当者			
(1) オリエンテーショ	 レン (2) 産業革命とサ	22471481		テルとその亦連	(4) 工業級	洛レ市	担ヨ有			
, ,	「~ (2) 産業早叩こり -ビス化 (5) デジタル	, ,			. ,					
	マル情報化による社会									
, ,	立置関係(10)内部化									
	金農機構 (16) 産業構造の変質(13)					~ 信	語橋			
	:」と「サービス」と(
る。	_									
教科書										
教・書籍名1					教・と	出版社名1				
教・著者名1					教·	ISBN1				
教・書籍名2					教・片	出版社名2				
教・著者名2					教・	ISBN2				
参考書										
参・書籍名1 『サー	ビス経済の拡大と未刻	未社会』			参・片	出版社名1	桜井書店			

参・著者名	1 飯盛信男	参・ISBN1	ISBN978-4-905261-38- 4
参・書籍名	2 『なぜ近代は繁栄したのか - 繁栄の個人主義、停滞のコーポらディズムー』	参・出版社名2	みすず書房
参・著者名	2 E.フェルブス	参・ISBN2	ISBN 978 - 4 - 622 - 07961 - 1

授業科目名	地域社会論特殊研究	2Ⅱ (大学院授	(業)		担当者	i i	高橋 正已	
配当学科・研究科	2011~2022年度言	ち備国際大学 ス	大学院 社	上会学研究科	ナンバリ	ング		
配当于47 切九47	社会学博士1年				, , , , ,			
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業界	ド態 講義
年次	1年	,,,,	講期	2022年度秋学			曜日・時限	
								教育をみんなに/8. 働
			住み続け	けられるまちづ	くりを/12.	つくる責	賃任・つかう責	任/17. パートナー
SDGs関連項目	シップで目標を	達成しよう						
	1 gue 2 gue 2 fait	3 まべての人に 4 気	の高い教育を &なに 8	動きがいる 超速成長も 11 なみ続けられる	12 つくる責任 17 パートナ つかう責任 18根ex	ーシップで E成しよう		
	ĤĸĤĤŧĤ (((<i>-</i> ₩•			∞	3		
					~			
	テーマ:「サー	ビス価値」を根	底にした	:東アジアの社	会経済システ.	4		
								ービス価値」による生活中
	心の社会経済シ	ステムの形成	への移行	丁とが必要であ	る。これは東	アジアとっ	ってとりわけ不	可欠なことの理解が目標
到達目標	となる。							
	人間の生活に欠	かせない新た	な「サ-	- ビス価値」を:	生み出すのはん	人間自身の)活動である。	ここでいう「サービス価
	_				fすることで「 <i>.</i>	人は人とし	て目ざすべき	存在」として成長できる
	と、これが現代			-				
			- 0.0	[は専修免許を]			- 0	
							-	だ、これと同じ概念が東ス
		-					···-	。つまり東アジア地域で
授業概要	は独自の文化的	精神としての	「人格」と	: 等しい概念は	ない。これは	今後由々し	,き問題へと発	展する可能性がある。近
2221417024	年の社会経済的	な混迷、自然	環境の悪	悪化など、あら	ためて国や地	或がもつ文	て化的精神の重	要性を浮上させているい
			そうした	た東アジアの伝統	統的な文化的	情神と「サ	ービス価値」と	のつながりを学生と一緒
	に議論しながら	講義する。						
アクティブラーニン 内容	グの ディスカッショ	ン/プレゼン	テーショ	コン/その他の	アクティブラ・	ーニング	(複合的なもの	等)
評価方法と割合	講義への意見や	態度に10点、	読書レス	ポート (レジュ	メ)、小論お	よび報告に	こ60点、およて	が小試験に30点で、これな
計画ガルと司口	総合的に評価す	·る。						
ルーブリック評価								
課題や試験のフィー	ド 「小論試験 やレ	ジメかどけ日	時を指定	ミレア木人に返	却する			
バック方法		77.4CM	H) C 10 V		47 7 0			
	受講する学生と	相談の上、講	義利用の	O文献を決定す	る。この文献の	の他、参考	ぎ文献をとり上	:げてあるので、それらを
履修条件・注意事項	読んで整理しレ	ポート(レジメ)を作成	に講義内で報告	告し仲間と議論	侖する。専	『門書や資料な	どの整理や内容の吟味を
	めて話し合うこ	と。また、受	講する覚	生たちと相談	の上、研究発	表を兼ねる	らが、これは研	F究倫理を厳守し主体的に
	やること。							
事前学習・事後学習	とそ前もって講読す	る書籍や資料	を、学生	Eと相談の上で	決定するので、	質疑や点	5答が可能であ	るように、書籍や資料に
の時間			_					し、それをまとめておく
	こと。講義の資	料を参考に予	習 2 時間	間と講義終了後	には復習2時	間をやるこ	٤ - ا	
オフィスアワー	火曜日 昼休みと	*****		究室)				
(4)	(2)	,,,,	業計画	+	11	/4) 52/10	-+1 6	担当者
	/ョン 〈2〉産土の文							
	文化社会 〈6〉易経							
	人間と社会組織 〈1					•		± 1~
	仏教における文化と						社会経済シ	号 橋
ステム 〈16〉小論?	人 試験のように、春期	Hに講義を削提	として	子生と譲論しな	かり詰を進め	る。		
教科書								
教・書籍名1						孝	数・出版社名 1	
教・著者名1						孝	炎・ISBN1	
教・書籍名2						孝	数・出版社名2	
教・著者名2		·					ጷ・ISBN2	

参	・書籍名1		参・出版社名1	岩波書店
参	・著者名1	湯浅泰雄	参・ISBN1	ISBN 4 -00-002936- 3
参	・書籍名2	『経済循環と「サービス経済」の理論』	参・出版社名2	八朔社
参	・著者名2	寺田隆至	参・ISBN2	ISBN978-4-86014-071- 7

授業科目名	地垣	战社会論特殊研究Ⅱ	I (大学院授	業)	担当者	∠	メルヴ	ィオ、ミカ・	マルクス
配当学科・研究科		11~ 2022年度 吉伯 ☆学博士1年	備国際大学 オ	、学院 社会学研究科	ナンバリ	ング			
 必修・選択	選択		単位数	2単位	時間数	30		授業形態	演習 exercises
年次	1年	`		講期 2022年度春5		00	曜日・	時限 火曜	
SDGs関連項目		10. 人や国の石 10 tact 16 facest		そう/16.平和と公		人に			
テーマ: 国際関係論の理論研究 International Relations 1 到達目標:博士課程レベルでの研究に必要な国際関係論の理論を修得する。 This course aims to enhance the understanding on the current development of theories and methodologies International Relations. It will be expected that these theoretical frameworks could be of help for the socionitific studies at the doctoral level.									
This course aims to provide practical and academic advice for each student. By paying respect to the individed research interest of each student, various approaches to global issues will be discussed in relation to the marked recent development of theoretical frameworks in studies of International Relations. 受講生との双方向の討論を通じ、受講生の研究テーマに合致したテキストを選定し、その研究テーマが国際社会動向とどのように関連しているかを考察・分析する。 Based on the interactive discussions, the instructor shall prepare for the assignments (both readings and writing assignments) so that the students' research will well be advanced. The research themes of the students' research will well be advanced to manually.									
アクティブラーニン: 内容	グの	ディスカッション	//プレゼン:	テーション					
評価方法と割合	participation in class activities (30%), mid-term reports (35%), and final presentation (35%).								
ルーブリック評価									
課題や試験のフィー	ド		1 七 钿 晒 华 /	こついては 極業れた	ガリ ルタニ	ト・フコ	, L°,	バックナス	
バック方法		評価のために夫M	也に誄越寺(については、授業およ	、ひメール寺に、	よつ(ノ	/ 1 — ٢/	ハツクする。	
履修条件・注意事項		The instruction v この授業は英語で 認すること。	_	_	"授業内容につい	ハての予	子習・復習	習に取り組み	*、疑問点は教員に確
事前学習・事後学習	とそ	受講生の予習(3	0時間)と復 ²	習(30時間)のために	こ、授業内容に	沿って認	果題を課	<u> </u>	
の時間				is (30 hours) and fol on home assignment					sessions are
オフィスアワー		Tuesday 12:45-1	3:30 (classro	oom).					
			授業	業計画					担当者
1. Reflections on res	searc							Mer	/iö
2. How to improve								Mer	/iö
3. Basic criteria of e								Mer	
4. Research method	olog	у						Mer	/iö
5. Explaining and un	ders	tanding						Mer	/iö
6. Hermeneutics								Mer	<i>i</i> iö
7. Mid-term discuss	ion							Mer	<i>i</i> iö
8. Presentation of th	nesis	work						Mer	/iö
9. Originality in your	thes	sis work						Mer	/iö
10. References								Mer	νiö

11. Improving	M	Merviö									
12. Presentat	M	Merviö									
13. Comment	ing on others work	M	erviö								
14. Comment	ing on thesis work	M	erviö								
15. Concludin	g discussion	M	erviö								
16. Final test	М	erviö									
教科書	教科書										
教・書籍名1	International Relations Theories: Discipline and Diversity	教・出版社名1	Oxford University Press								
教・著者名1	Dunne, Tim et al. (eds)	教・ISBN1	978-0198707561								
教・書籍名2		教・出版社名2									
教・著者名2		教・ISBN2									
参考書											
参・書籍名1	International Relations	参・出版社名1	Polity								
参・著者名1	Lawson, Stephanie (ed)	参・ISBN1	978-1509508563								
参・書籍名2		参・出版社名2									
参・著者名2		参・ISBN2									

授業科目名	地域	社会論特殊研究バ	無特殊研究Ⅳ (大学院授業)						, Ī	メルワ	ヴィオ、	ミカ・ ⁻	マルクス	
配当学科・研究科	l	.1~ 2022年度 吉f 学博士1年	備国際 为	大学 大	、学院 社	:会学研究科		ナンバリ	ング					
 必修・選択	必修	5	単位	数	2単位			時間数	30		授	業形態	演習	
年次	1年			開	講期	2022年度秋学	如期			曜日	・時限	火曜3	B限	
		10. 人や国の不	平等を	なく	そう/ 1	6. 平和と公	公正をすべての人に							
SDGs関連項目		10 APROXES 16 FRICIDES ***********************************												
テーマ: 修士論文執筆のための調査研究 到達目標: 研究課題と論文執筆の基本技法の確認. この授業では、それぞれの専攻分野において研究を発展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、在学士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究演習1から社会学研究演習4に至るアプが設定されている。 第1年次においては、研究の出発点として基礎的な理論と方法を学び、自らの研究関心や問題意識と照合して究課題を暫定的に作り上げる。その暫定的な研究課題に即して、関連文献・資料を収集・整理・分析して、研題を次第に精緻化していく。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部との研究交流をはかることでましい。									究演習4に至るステッ 夏意識と照合して、研 ・分析して、研究課					
この授業におけるレポートの作成が受講生の論文執筆にとって有用なものであることを目指す。 研究課題の設定、研究目的の精査、研究方法の選択肢など、論文執筆にとって実用的かつ基礎的な事項を 確認しつつ、受講生各自のテーマでの論文執筆をサポートする。 この演習の受講生は専修免許を取得することが可能である														
アクティブラーニン:	グの	ディスカッション	/プル	ガン	テーショ									
内容		ディスカッション/プレゼンテーション												
評価方法と割合	評価方法と割合 授業への参加状況(20%)、2回の中間レポート(40%)、最終試験(プレゼンテーションおよびレポート 40%) よって評価する。									よびレポート 40%)に				
ルーブリック評価														
課題や試験のフィー バック方法	Ļ,	評価のために実施した課題等については、授業およびメール等によってフィードバックする。												
履修条件・注意事項		社会学研究演習1 ること。	から4は	:必修:	である。	十分な予習・	準備	請をして授	業に臨る	外、復習	図によっ	て授業	内容を的確に理解す	
事前学習・事後学習 の時間	とそ	毎回授業で予習	(30時間]) と1	復習(3	0時間)をする	ため	めの課題を	指示する	3.				
オフィスアワー		12:45-13:30 Tue	sdays (i	in cla	ssroom)								
				授美	業計画								担当者	
1. Reflections on res	searc	:h										Merv	iö	
2. How to improve	thes	is work										Merv	iö	
3. Basic criteria of e	valua	ation										Merv	iö	
4. Research method	ology	<i>y</i>							Merviö					
5. Explaining and un	ders	tanding						Merviö						
6. Hermeneutics												Merv	iö	
7. Mid-term discuss												Merv	-	
8. Presentation of th												Merv		
9. Originality in your	thes	sis work										Merv		
10. References	-											Merv		
11. Improving the thesis work Merviö														
12. Presentation of individual work														
13. Commenting on others work Merviö														
14. Commenting on thesis work Merviö														
15. Concluding discussion 16. Final test Merviö														
16. Final test												ivierv	IU	
教科書	. \^/	ita a Deservit D		- 1	The - '	A Marriel (CT	ا معدد				I ₀	a a ta a n a	
数・書籍名1 Resea		ite a Research Pr rs	oposal	and	rriesis:	A IVIANUAL FOR S	STU(uerits and		教・占	出版社名		eatespace dependent Publishin	

			Platform							
教・著者名1	Hamid, Mohamed E.	教・ISBN1	978-1482675054							
教・書籍名2		教・出版社名2								
教・著者名2		教・ISBN2								
参考書	参考書									
参・書籍名1	How to Write a Master's Thesis	参・出版社名1	Sage Inc.							
参・著者名1	Bui, Yvonne N.	参・ISBN1	978-1452203515							
参・書籍名2		参・出版社名2								
参・著者名2		参・ISBN2								

授業科目名	産業社会論特殊研究	I (大学院授	業)		担当者	<u>,</u>	月求					
和业党制, 亚克利	2011~ 2022年度 吉	備国際大学 为	学院社	土会学研究科	ナンバリ	ング						
配当学科・研究科	社会学博士1年) ///	<i>>'</i>						
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30		授業形態	講義			
年次	1年	開	講期	2022年度春学	期		曜日	・時限集中	講義			
	8. 働きがいも	経済成長も/	9. 産業	業と技術革新の	基盤をつくろう	5/12	2. つく	、る責任・つか	いう責任/17. パー			
	トナーシップで	トナーシップで目標を達成しよう										
SDGs関連項目			トナーシップで 概を連成しよう									
		CO K	**									
	「テーマは日本に	 的経営の理解 ₋	「である	 る。到達目標は、	単に、教科書	書をマスダ	-するの	つではなく、自	目分なりの問題意識を			
71) + D IF	持つとともにマネシ	ゾメントの基本的]な分析	枠組みを理解す	ることである	。また	、マネシ [*] .	メント及び経営理	≣論、思想の変遷を体			
到達目標	系的に理解する	とともに、読魚	解力の氰	養成、文章のま。	とめる能力、コ	ミュニケーシ	ョン能力	、それに基づ	いて企業の具体的な事			
	例を分析できる。	ようになるこ	とが目標	票である。								
	本授業は、日本に	的経営に焦点	をあて、	考察するもの	である。1950:	年代、1	1960年1	代の日本の会社	社を研究し、その経営			
	上の特徴をまとめた人がアベクレンである。日本的							こおいて終身層	雇用、年功序列などが			
								てきた。				
	欧米経済の不満	況の中、日本紀	経済は世	世界経済の牽引頭	車の役割を果た	たし、E	本的紹	A 経営を世界の多	ろくの企業が手本と			
	し、海外の研究	者にも評価され	れるよう	うになった。日末	本企業が成功な	を収めた	±1980±	∓代は、日本的	 り経営の注目が集まっ			
	た時代であった。	,でもその後、	バブル	経済の崩壊以降	· 、これまでの	ような	日本的:	経営はそのま	ま持ち続けることが難			
	しくなった。											
	長引く不況の	中で、多くの	日本企業	業は業績不振にī	直面し、国際競	竞争力を	と喪失し	た。世界に誇	吟ってきた日本的経営			
授業概要	の成功体験が色	長引く不況の中で、多くの日本企業は業績不振に直面し、国際競争力を喪失した。世界に誇ってきた日本的経営 の成功体験が色あせ、多くの日本企業に変化が求められたのである。日本企業の経営に関する研究内容に新たな視										
	点からの分析が	点からの分析が求められている。										
	授業の概要は、	授業の概要は、50年後の日本的経営、再設計の10年、社会の高齢化、日本的経営、空前の嵐に見舞われた企業財										
	務、研究開発と	務、研究開発という必須の課題などである。この授業では、日本的経営・変化の基本的な論点を学ぶ。										
	また、本講義・	では、教科書	を輪読し	してもらい内容?	を理解する。き	受講者に	は、各章	重毎に担当者が	· 要約・問題提起のレ			
	ジュメを作成して	報告する。その	の後、幸	服告に基づいて	受講者全員で記	対論する	5。授業	美スケジュールにつ !	いては、第1回授業時			
	に説明する。テキン											
アクティブラーニング	グの ディスカッショ	ンノディベー	トノプロ	,ガンテーショ [、]	.,							
内容												
評価方法と割合	プレゼンテーシ	ョン、発表内容	容と討論	扁への姿勢など(40%)、単位認	定試験	(60%)	によって総合的	的に評価。			
ルーブリック評価	18											
課題や試験のフィー	授業時間とオフ	ィスアワーをタ	利用して	てフィードバッ:	クを行う。							
バック方法	L Wales L L W	- I= W		10 oz -tth / 1 t-			- · ·		- // / St 1 - A . / / /			
履修条件・注意事項									函的な姿勢で討論に参			
事前学習・事後学習の	加すること。また	に、侵留をする	っこと。	メール、携帯電話	、私器、無断	迟至、	無断火	ルは厳宗。				
事則子首・事後子首 の時間	毎回討論に参加・	するために予	習の徹原	ミ(毎回2時間)と	:講義後に復習	曾(毎回2	2 時間)	をすること。				
オフィスアワー	研究室(9号館、9	9412)、春は月	曜日38	寺限(13:30-15:0	0)、秋は月曜	日2時限	₹(11:10	-12:40)。				
		授美	業計画						担当者			
1.オリエンテーション								姜				
2.50年後の日本的経営	営							姜				
3.再設計の10年								姜				
4.社会の高齢化												
5.ケースの研究								姜				
6.日本的経営 姜												
7.ケースの研究								姜				
8.空前の嵐に見舞われ								姜				
9.研究開発という必須	頁の課題							姜				
10.企業統治								姜				
11.ケースの研究								姜				
12.対日直接投資はほ	んとうに少ないのか							姜				

13.変化する国際環境	姜	
14.変化する国際環境	姜	
15.総合復習	4	姜
16.単位認定試験	4	姜
教科書		
教・書籍名1 新・日本の経営	教・出版社名1	日本経済新聞社
教・著者名1 ゼ エムス・C・アペクレン著	教・ISBN1	
教・書籍名2	教・出版社名2	
教·著者名2	教・ISBN2	
参考書		
参・書籍名1 講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。	参・出版社名1	
参·著者名1	参・ISBN1	
参・書籍名2	参・出版社名2	
参·著者名2	参・ISBN2	

授業科目名	産業社会論特殊研究	Ⅱ (大学院授	業)	担当者 姜 明求								
#7.1/ W.4/	2011~ 2022年度 吉	備国際大学 大	大学院 社会学研究科	1								
配当学科・研究科	社会学博士1年			ナンバリン	ング							
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30		授業形態	講義				
年次	1年	開	講期 2022年度秋学	- 期		曜日	· 時限 集中語	講義				
	8. 働きがいも糸	経済成長も/	9. 産業と技術革新の	基盤をつくろう	/12.	つく	る責任・つか	う責任/17.パー				
	トナーシップで	トナーシップで目標を達成しよう										
SDGs関連項目	8 競きがいも 9 高葉と技術画紙 番類をつくろう		ートナーショブで 種を達成しよう									
	m &	∞ 8	**									
「テーマは日本的経営の理解」である。到達目標は、単に、教科書をマスターするのではなく、自分なりの問題意												
지수 모 4표	持つとともにマネシ	゙メントの基本的	コな分析枠組みを理解す	-ることである	。また、	マネシ゛メ	가及び経営 理	津論、思想の変遷を体				
到達目標 	系的に理解する。	とともに、読魚	解力の養成、文章のま	とめる能力、コ	ミュニケーション	能力、	それに基づい	いて企業の具体的な事				
	例を分析できる。	ようになるこ。	とが目標である。									
	本授業は、日本的	り経営に焦点を	をあて、考察するもの	である。1950年	丰代、19	60年代	この日本の会社	仕を研究し、その経営				
	上の特徴をまとる	カた人がアベクレ	<i>小</i> である。日本的経営	はアベクレンの「E	日本の経営	営」に	おいて終身雇	≣用、年功序列などが				
	日本企業の経営	上の特徴とし	て指摘されて以来、様	々なアプffから	研究が行	われて	<i>てきた。</i>					
	欧米経済の不満	兄の中、日本紀	経済は世界経済の牽引	車の役割を果た	こし、日本	卜的経	営を世界の多	くの企業が手本と				
	し、海外の研究を	れるようになった。日	本企業が成功を	と収めた1	980年	代は、日本的	的経営の注目が集まっ					
	た時代であった。	でもその後、	, バブル経済の崩壊以降	4、これまでの	ような日	本的紹	怪営はそのまる	ま持ち続けることが難				
	しくなった。	2 1 2 1 2 2										
授業概要	長引く不況の「	長引く不況の中で、多くの日本企業は業績不振に直面し、国際競争力を喪失した。世界に誇ってきた日本的経営										
32212702	の成功体験が色を	の成功体験が色あせ、多くの日本企業に変化が求められたのである。日本企業の経営に関する研究内容に新たな視										
		点からの分析が求められている。 - 将業の概要は、50年後の日本的経営、再設計の10年、社会の喜齢化、日本的経営、空前の嵐に目舞われた企業財										
		授業の概要は、50年後の日本的経営、再設計の10年、社会の高齢化、日本的経営、空前の嵐に見舞われた企業財										
		務、研究開発という必須の課題などである。この授業では、日本的経営・変化の基本的な論点を学ぶ。										
		また、本講義では、教科書を輪読してもらい内容を理解する。受講者は、各章毎に担当者が要約・問題提起のレ ジュメを作成して報告する。その後、報告に基づいて受講者全員で討論する。授業スケジュールについては、第1回授業時										
				党講者全員で 記	寸論する。	授業	スケシ ュールにつ(いては、第1回授業時				
	に説明する。テキス	いは変更り能	<i>であ</i> る。									
アクティブラーニン:	グの											
内容	ディスカッション	ン/ディベー	ト/プレゼンテーショ	ン								
評価方法と割合	プレゼンテーショ	ョン、発表内容	容と討論への姿勢など	(40%)、単位認	定試験(6	50%) (C	よって総合的	りに評価。				
ルーブリック評価												
課題や試験のフィー	ド 哲学時間とオフ	/フマローた9	利用してフィードバッ	りた行う								
バック方法	技業时間とオブル	1 ステケーを4	竹用してフィードバッ	クを11 7。								
履修条件・注意事項			ので、問題意識を持つ					的な姿勢で討論に参				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		た、復習をする	ること。メール、携帯電話	5、私語、無断	退室、無	断欠席	まは厳禁。					
事前学習・事後学習の時間	を 毎回討論に参加す	するために予	習の徹底(毎回2時間)	と講義後に復習	(毎回2	時間)を	とすること。					
の時間 オフィスアワー	研究室(9号館、9	412)、春は月	曜日3時限(13:30-15:0	10)、秋は月曜	32時限(1	11:10-	12:40)。					
			業計画	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(-			担当者				
1.オリエンテーション							姜					
2.50年後の日本的経営							姜					
3.再設計の10年							姜					
4.社会の高齢化							姜					
5.ケースの研究							姜					
6.日本的経営							姜					
7.ケースの研究							姜					
8.空前の嵐に見舞われ	nた企業財務						姜					
9.研究開発という必須	頁の課題						姜					
10.企業統治							姜					
11.ケースの研究							姜					
12.対日直接投資はほ	んとうに少ないのか						姜					
•							•	l				

13.変化する国際環境	姜	
14.ケースの研究	姜	
15.総合復習	į	姜
16.単位認定試験	姜	
教科書		
教・書籍名1 新・日本の経営	教・出版社名1	日本経済新聞社
教・著者名1 ゼ エムス・C・アペクレン著	教・ISBN1	
教・書籍名2	教・出版社名2	
教·著者名2	教・ISBN2	
参考書		
参・書籍名1 講義時に参考書・資料などを適宜紹介・配布する。	参・出版社名 1	
参·著者名1	参・ISBN1	
参・書籍名2	参・出版社名2	
参·著者名2	参・ISBN2	

授業科目名	産業社会論特殊研究I	(大学院授	(業)		担当者 山口 英峰					
配当学科・研究科	2011~2022年度 吉	備国際大学っ	大学院 社	上会学研究科	ナンバリン	1 Ti				
配当于符	社会学博士1年				72/192					
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	演習		
年次	1年	開	講期	2022年度春学	:期	E	曜日・時限 集中	中講義		
	3. すべての人に	こ健康と福祉	を/4.	質の高い教育	をみんなに					
SDGs関連項目	3 EXCOME 4 MARINEE									
到達目標	により、労働環境 労働環境をより	竟の重要性を 良くするため	理解するの幅広い	ることができる。 \視野、考え方 ^を	. 労働者の環 を身につけるこ	環境のあり ことを到達	方について、様 目標とする。	す影響を提示すること 々な視点から考え、		
授業概要	労働環境が産業効めの知識や改善の			は計り知れない.	様々な労働環	環境の現状	を把握し、労働	環境をより良くするた		
アクティブラーニン: 内容	ティブラーニングの その他のアクティブラーニング(複合的なもの等)									
評価方法と割合	講義中の課題レス	ポート (70%)	、討諱	養への参加(30 9	%)から総合的	に評価す	る。			
ルーブリック評価							-			
課題や試験のフィー	ド評価のために実施	をした課題は	、講義内	9でフィードバ·	ックすることか	ゝら、コメ	ントに対して検	討し、自分の考えをま		
バック方法	とめること。									
履修条件・注意事項						、ては積極	的に質問するよ	う取り組むこと。教員		
	はそれを最大限にサポートする。提出物の期限は厳守すること。									
	前学習・事後学習とそ 本講義は予習復習が2時間程度必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理									
の時間	解できない点をま	まとめて授業	を受ける	ること。復習と	して、毎回課題	夏を出すの	で、次回の授業	時に発表すること。		
1		TOO (0410	TH (13 C O C C + 1			7		
オフィスアワー	9号館4階の個人		研究至 <i>。</i> 業計画	したおいて、木	唯日3限日をオ	フィスア	ソーの時间とする	る。 担当者		
第1回 オリエン:	 テーション	17.5	未引四				ılı.E	型 当 有		
	と労働環境							コスペキ コ英峰		
	と仕事効率				山口英峰					
	- ビザ‴ー 竟:労働と道具				山口英峰					
	竟:労働と衣服				山口英峰					
	·- · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							J英峰		
	竟:暑熱環境				山口英峰					
第8回 労働と環境	竟:寒冷環境				山口英峰					
第9回 労働と環境	竟:空気汚染						ЩГ]英峰		
第10回 労働と環境	竟:夜間勤務						山口	□英峰		
第11回 ジェット	ラグと環境適応						山口	J英峰		
第12回 概日リズ	ムと環境適応						山口	□英峰		
第13回 週休と生活	舌リズム						ЩΕ]英峰		
第14回 職業病							ЩΕ	口英峰		
第15回 労働環境	支援システム						山口]英峰		
教科書										
教・書籍名1 使用し	ない(プリントを配布	Fする)				教	て・出版社名1			
教・著者名1						教	. I S B N 1			
教・書籍名2			教	て・出版社名2						
教・著者名2						教	t·ISBN2			
教・著者名2 参考書										
数・著者名2 参考書 参・書籍名 1 適宜指	示する					参	・出版社名1			
教・著者名2参考書参・書籍名1 適宜指参・著者名1	示する					参	⇒・出版社名1⇒・ISBN1			
数・著者名2 参考書 参・書籍名 1 適宜指	示する					参	・出版社名1			

授業科目名	産業社会論特殊研究	IV (大学院授業)	担当者 山口 英峰				
配当学科・研究科	2011~2022年度 吉	抗偏国際大学 大学院 社会学研究科	ナンバリング				
11日子科・柳九科	社会学博士1年) //////				
必修・選択	選択	単位数 2単位	時間数 30	授業形態 演習			
年次	1年	開講期 2022年度秋雪	学期	曜日・時限集中講義			
	3. すべての人	に健康と福祉を/4.質の高い教育	をみんなに				
SDGs関連項目	3 FATOAL A MORIENTE						
到達目標	り方について様	々な視点から考える。労働環境の改 者がより良く健康に働けるための環	(善が身体的および精	理解し、労働者における理想的な健康のあ 神的な健康をもたらすことを理解すること 広い視野をもち、改善方法を身につけるこ			
授業概要				働者の健康が確保されていることは必須で 把握し、労働者の健康の保持増進の方法に			
アクティブラーニン 内容	グの その他のアクテ	ィブラーニング(複合的なもの等)					
評価方法と割合	講義中のレポー	ト(70%)、討議への参加(30%)	から総合的に評価する	る。			
ルーブリック評価							
課題や試験のフィー	ド 評価のために実	施した課題は、講義内でフィードバ	ぶっ することから、	コメントに対して検討し、自分の考えをま			
バック方法	とめること。						
履修条件・注意事項	主体的な取り組	みが必須である。教員はそれを最大	限にサポートする。				
事前学習・事後学習 の時間				こ記載されている部分について資料を読み、 出すので、次回の授業時に発表すること。			
オフィスアワー	9号館4階の個人	研究室(9410研究室)において、フ	ト曜日3限目をオフィン	スアワーの時間とする。			
		授業計画		担当者			
	テーション			山口英峰			
第2回 健康のと	らえ方			山口英峰			
第3回 労働者の				山口英峰			
第4回 労働と疾				山口英峰			
	疾病について			山口英峰			
	康:身体的疲労			山口英峰			
	康:精神的疲労			山口英峰			
	康:ストレス			山口英峰			
	康:休養(睡眠)			山口英峰			
	康:運動不足			山口英峰			
第11回 労働と健				山口英峰			
第12回 労働と健				山口英峰			
第13回 夜勤労働				山口英峰			
第14回 労働者の 第15回 労働者健				山口英峰			
	NAJK / A / A			비디즈 [™]			
教科書 数・書籍夕 1 個田 Ⅰ	 、ない(プリントを配 ^ぇ	<u></u>		教・出版社名1			
教・書籍名1 使用し	· ない (ノソノトを配)	ال د ااا		教・ISBN1			
教・書籍名2				教・出版社名2			
教・書籍名2				教・ISBN2			
教・者者名2 参考書				秋·IODNZ			
参考音 参・書籍名 1 適宜指	<u></u>			参・出版社名1			
参・著者名1 過量指	יא נייו			参・日放社名1			
参・書籍名2				参·出版社名2			
参・著者名2				参・ISBN2			

授業科目名	社会学研究指導	(大学院授業)			担当者 赤坂 真人						
配当学科・研究科	2011~ 2022年度 吉	·備国際大学 :	大学院 社	上会学研究科	ナンバリン	ング					
	社会学博士1年				, , , , , ,	, ,					
必修・選択	必修	単位数	2単位	_	時間数	30	•	授業形態	演習		
年次	1年	開	講期	2022年度春学	期		曜日	・時限集中講	義		
	4. 質の高い教	育をみんなに	/11.	住み続けられる	るまちづくりを	E/16	. 平和	と公正をすべて	ての人に		
SDGs関連項目	4 HORIUME 11 BASCHE	16 ##\2228									
テーマ 新しい社会学の概念図式 社会学には物理学のようなミクロからマクロまで説明できる一般理論が存在しない。かつてタルコット・パーンズが行為理論でもって社会学の一般理論を構築しようとしたが、一時的な大論争を引き起こしたものの、20世後半には終息してしまった。J.H.ターナーが行為では相互行為を基本とする一般理論を構築しようとしたが、そ後継承者は現れなかった。トマス・ファラロが数学的発想を持って社会学の分析的一般理論を構築しようとした呈示にはいたっていない。研究演習1では「社会学の一般分析的理論」の構築可能性を考える。到達目標数理社会学者の発想に依拠ししつつ「社会学の一般分析的理論」の構造を理解する。次に相互行為理論・社会報学理論に依拠して社会学の「準拠枠組みまたは概念図式」の構築を試みる。これにより学生は社会学の理論構成が理解できるようになる。									したものの、20世紀 ようとしたが、その 構築しようとしたが 互行為理論・社会情		
J.H.ターナーのA Theory of Social Interactionをテキストにして、相互行為を最小の構造的単位とする分析的を考える。同時に社会学の理論的フレームを再考し、社会学の理論とは何かついて考える。								位とする分析的理論			
アクティブラーニン	- イブラーニングの ディスカッション/ディベート										
内容	.1. = - 1 /40	10/) =+EA /00	10/\ '-	レッボゲナッ	田町ムル=^-		×→+== ⊢	1 アドサナッ	の本作羽+フェル		
評価方法と割合	方法と割合										
ルーブリック評価											
課題や試験のフィー									こ提出する。教員は		
バック方法						よい場合	、学生	は教員のコメン	ノトに反論すること		
	ができる。教員						++-// 1				
履修条件・注意事項		論社会字・社	会字史・	社会思想史なる	どの知識がない	、と履修	は難し	い。			
事前学習・事後学習 の時間	指定されたテ			、ること。毎学類			各2時間	間程度を要する	0		
オフィスアワー	火曜4限(15	: 10~16:4	0) に、i	研究室(9309)	にて実施する	0					
			業計画						担当者		
	ョン::倫理教育(研		がく責任?	ある研究活)				赤坂			
	ion and Micro Dynan	nics						赤坂			
3. Early Models of								赤坂			
4. Contemporary N								赤坂			
5. Synthetic Mode							赤坂				
6. Mead model of								赤坂			
7. Schultz's Mode	ls of Interaction.							赤坂			
8. Models of Inter								赤坂			
9. Synthetic Mode								赤坂			
10. Interpersonal								赤坂			
11. Models of Interpersonal Structure. 赤坂											
12. Models of Stru	_							赤坂			
13. Interaction of	Micro Dynamics.				赤坂						
14. Speculation.					赤坂						
15. Terminal Exam	nination.							赤坂			
16. 定期試験								赤坂			
教科書	- 1						44	ueti 6			
教・書籍名1 A	Theory of Social Ir	nteraction.					教・出	版社名1 S	tanford University		

			Press.
教・著者名1	J.H.Turner.	教・ISBN1	978-08047-14797
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1		参・出版社名1	
参・著者名1		参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導 (大学隊			担当者	姜明				
#7 1/ 2/ (1)	2011~ 2022年度 吉備国際	 祭大学 大学院 社会	会学研究科	1 2 211 2 42					
配当学科・研究科	社会学博士1年			ナンバリング					
必修・選択	必須	頁 単位数 2単位				授業形態	演習		
年次	1年	開講期	2022年度春学	期	曜日・	・時限集中	講義		
SDGs関連項目	8. 働きがいも経済成トナーシップで目標を 8 ##### 9 ### 12 3	を達成しよう	と技術革新の製	基盤をつくろう/ 1	. 2. つく	る責任・つた	ゝ う責任/17.パー		
到達目標	うために必要な文献、	資料の収集、先行	行研究の精査				博士論文の研究を行 カーハウ、論理的思考力、		
コミュニケーション能力などの養成を目標にする。 それぞれの専攻分野において研究を発展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中に博を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、研究指導 から研究指導 VIに至るステップが設定され: 第1年次においては、内外の関連文献を読み進め、文献資料・統計資料を可能な限り収集・分析し、研究に点を絞っていく。必要に応じて、事例調査やフィールドワークなどを試みる。専門分野における資料の探し方、文に受業概要 の読み方、研究のデザイン、研究目的に合わせたデーク解析の方法などについて、具体的に指導する。研究課題が絞られていく過程において、場合によっては、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかもしれない。									
アクティブラーニン 内容	グの ディスカッション <i>/</i> テ		ゼンテーション	~					
評価方法と割合	ププレゼンテーション 価。	_ ⁄、発表内容と討詞	論への姿勢なる	ど(40%)、試験(40%	ん)・研究の	進捗度(20%)によって総合的に評		
ルーブリック評価									
課題や試験のフィー バック方法	ド 授業時間とオフィスア	<u></u> プワーを利用してご	フィードバック	クを行う。					
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業 加すること。また、復						函的な姿勢で討論に参		
事前学習・事後学習 の時間	とそ毎回討論に参加するた	<u>:</u> めに予習の徹底((毎回 2 時間) と	ニ講義後に復習(毎回	回 2 時間)を	とすること。			
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、	、春は月曜日3時	限(13:30-15:0	0)、秋は月曜日2時	限(11:10-	12:40)。			
		授業計画					担当者		
3.各自の選んだ研究を	à理の指導 テーマに合わせた研究文献の報 テーマに合わせた研究文献の報 テーマに合わせた研究文献の報	没 告				姜姜姜姜			
5.資料の収集とまとと6.資料の収集とまとと	め方の指導					姜姜			
7.研究テーマに合わせた 8.研究テーマに合わせた						姜 姜			
9.文献の発表と討論 10.文献の発表と討論 11.文献の発表と討論						姜 姜 姜			
12.研究テーマに合わせだ 13.文献の発表と討論	た文献の紹介					姜			
14.文献の発表と討論 姜 15.総合学習 姜 16 単位認定試験 姜									
教科書						^			
		土・ 咨判か <i>い</i> たヱ	習ができるト	うに 適宜紹介・和・	右 数・屮	版社名1			
か 日相石 1	、に心して、研找时に参考す	ョ・貝付はこで丁	日いこうのか		III XY III	WIT 11			

教・著者名1		教・ISBN1	
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方	参・出版社名1	同文館
参・著者名1	新堀・聴	参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導	 (大学院授業)	担当者	ルヴィオ、ミカ・マルクス				
#7 V/ 24 (V	2011~2022年度	医 吉備国際大学 大学院 社会学研究科	1 >					
配当学科・研究科	社会学博士1年		ナンバリング					
必修・選択	必修	単位数 2単位	時間数 30	授業形態 演習 exercises				
年次	1年	開講期 2022年度春学		曜日・時限 集中講義				
SDGs関連項目	10. 人や国 10 Mesores 16 P	園の不平等をなくそう/16.平和と公 ™CCE# <	正をすべての人に					
テーマ: 博士論文執筆のための調査研究 到達目標: 研究課題と論文執筆の基本技法の確認. この授業では、それぞれの専攻分野において研究を発展させ、研究者として自立できる能力を獲得し 学中に博士論文を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究指導1から社会学研 るステップが設定されている。 第1年次においては、研究とは何か改めて確認して、基礎的な理論と方法を学びなおし、自らの研究 識と照合して、研究課題を暫定的に作り上げる。その暫定的な研究課題に即して、関連文献・資料を収分析して、研究課題を次第に精緻化していく。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加して、外部とをはかることにも努力する。研究の成果は、年度内に作業論文としてまとめ、1月下旬に予定されてい学研究科博士課程発表会において報告して批判をうける。その上で、査読付きの学術雑誌(専門学会試稿することを期待する。								
授業概要	研究課題の設確認しつつ、	らけるレポートの作成が受講生の論文執 対定、研究目的の精査、研究方法の選択 受講生各自のテーマでの論文執筆をサ	肢など、論文執筆にと					
アクティブラーニン 内容	グの ディスカッシ	/ョン/プレゼンテーション						
評価方法と割合	授業への参加 よって評価す		6)、最終試験(プレ	ゼンテーションおよびレポート 40%)に				
ルーブリック評価								
課題や試験のフィー バック方法	ド評価のために	実施した課題等については、授業およ	びメール等によってこ	フィードバックする。				
履修条件・注意事項	社会学研究指		 こ至る合計12単位は必	 が修である。				
事前学習・事後学習の時間	トス	予習(30時間)と復習(30時間)をするための						
オフィスアワー	12:45-13:30	Tuesdays (in classroom)						
3 7 1 7 7 7	12.43 13.30	授業計画		担当者				
 1. 序:授業の概要説	田·研究倫理教育	汉朱阳巴		Merviö				
2. 研究課題について				Merviö				
3. 研究課題と研究目				Merviö				
4. 研究方法: テクス				Merviö				
5. 研究方法:質的研				Merviö				
6. 研究方法 : 多様な				Merviö				
7. 研究方法:選択肢				Merviö				
8. 研究方法について				Merviö				
9. 研究方法について				Merviö				
10. 研究方法について				Merviö				
11. 方法学とは何か	COUP A AMILED			Merviö				
11. 万法寺とは何か 12. 方法論とは何か				Merviö				
12. 万法論とは何か 13. 研究方法 Merviö								
13. 研究が返 14. 論文:問題の所で	ケン研究理題			Merviö				
				Merviö				
16. 最終試験				INICIVIO				
教科書 教・聿籍夕1 From	Tonic to Defense	Writing a Quality Social Science Diss	ortation in 10	教・出版社名1 Helpful Little Books				
	Topic to Defense: is or Less	withing a Quality Social Science Diss	ertation in 10	THE HOURS				
IIVIOIIII	10 OI FC99							

教・著者名1	O'reilly, A. E. et al.	教・ISBN1	978-1499604139
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective	参・出版社名1	Thought Clearing
	Research		Thought oldaning
参・著者名1	Harris, D.	参・ISBN1	978-099645604
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	科目名 社会学研究指導 (大学院授業)					担当者				
配当学科・研究科	2011~20		莆国際大学	大学院を	上 会学研究科	ナンバリン	グ			
必修・選択	必修	多 単位数 2単位				時間数	30	授業形	形態 演習	
年次	1年			開講期	2022年度秋学	:期		曜日・時限	集中講義	
	4. 質	の高い教育	をみんなり	に <u>/16.</u>	平和と公正を	すべての人に				
SDGs関連項目	4 RORUE	#E 16 平和と公王を すべてのAに								
テーマ:新しい社会学の概念図式 社会学には物理学のようなミクロからマクロまで説明できる一般理論が存在しない。かつてタルコット・ンズが行為理論でもって社会学の一般理論を構築しようとしたが20世紀後半に失速した。その後、理論社会 乱を極めた。トマス・ファラロらが数学的発想を持って社会学の分析的一般理論を構築しようとしたが、いれが社会学理論の主流とは認められていない。この授業では「社会学の一般分析的理論」の可能性を考える 到達目標:数理社会学者の発想に依拠ししつつ「社会学の一般分析的理論」のロジックを理解する。次に会学・社会情報学に依拠した「準拠枠組みまたは概念図式」の構築を試みる。学生は一般理論・概念図式にる思考法を習得することができる。									その後、理論社会学は混ようとしたが、いまだその可能性を考える。 を理解する。次に数理社	
授業概要	今、社	会学に理論	が存在する	るかどうた		いる。自然科学			D統合について考える。 しても、認識の準拠枠組	
アクティブラーニン	グの <i>=</i> , ¬	カッション	, / - パ . レ .	ンテ <i>シ</i>	7.14					
内容	アイス	.カッンョン	// /レセ.	ンテーンミ	1 /					
評価方法と割合	小テ と。	スト(40%	5) 試験(6	60%) に。	よって評価する	。小テストや小	論文は	採点して返却す	るので必ず復習するこ	
ルーブリック評価										
課題や試験のフィー バック方法									クスに提出する。教員は コメントに反論すること	
					×ント書き返送 [*]	-				
履修条件・注意事項		注理論、任会	思想史、1	哲学など0	り基礎的知識が	めること。				
事前学習・事後学習の時間	毎字				程度を要する。					
オフィスアワー	火曜	4 限(15:			究室(9039)に	て実施する。				
				受業計画					担当者	
1オリエンテーシ	ョン:倫理	教育(研究位	倫理に基つ	がく 責任あ	る研究活)				赤坂	
2.マクロ理論戦略									赤坂	
3. 初期の動機理論									赤坂	
4. 現代の動機理論									赤坂	
5.相互行為過程									赤坂	
6.構造化過程									赤坂	
7.理論的総合 8.行為システム									赤坂	
9.社会的相互行為:	S. 7 = 1								赤坂	
10.社会情学	<i>/ / / / / / / / / /</i>								赤坂	
10.社会由于 11.情報-エネルギ-	_図士								赤坂	
11.情報・エネルギー									赤坂	
13.社会学における									赤坂	
14.規範科学として									赤坂	
							赤坂			
							赤坂			
教科書										
	ial Action S	ystems.						教・出版社名1	Praeger Publishing	
教・著者名 1 Tha	omas Fararı							# I C D N 1	978— 027597362x	
	unas rarari	U						教・ISBN1	910- 021391302X	

教・書籍名2	教・出版社名2	
教・著者名2	教・ISBN2	
参考書		
参・書籍名1	参・出版社名1	
参・著者名1	参·ISBN1	
参・書籍名2	参・出版社名2	
参・著者名2	参·ISBN2	

授業科目名	社会	土会学研究指導 II (大学院授業)				担当者姜明求			月求			
配当学科・研究科	201	011~ 2022年度 吉備国際大学 大学院 社会学研究科				ナンバリング						
	社会	会学博士1年										
必修・選択	必須	Ī	単位数	2単位		時間数	30		授業形態	演習		
年次	1年		1. 1.5.	講期	2022年度秋学			1,2211	・時限集中	113 350		
				•	美と技術革新の?	基盤をつくろう	5/12	. つく	る責任・つか	、う責任/17. パー		
こり こ。 関連項目		トナーシップで目		トラ 								
SDGs関連項目		8 物きがいる 9 高葉と技術事務を 8 総構成長も		\sim								
		「論文の書き方の	 D理解 がテ-	-マでま	ある。到達目標(は、質が高い物	其十論文	の作成	に取り組む。	 博士論文の研究を行		
到達目標			· · · · -)−ハウ、論理的思考力、		
		コミュニケーション能力な	どの養成を目	標にす	る。							
		それぞれの専攻分	分野において研	开究を多	後展させ、研究を	者として自立て	できる能	力を獲	得し、博士調	程在学中に博士論文		
		を完成させること	こをめざして、	指導教	対授を中心にし ^っ	て、研究指導	から研	F究指導	WIに至るステッフ	プが設定されている。		
								_		の関心や問題意識と照		
授業概要										: 収集・分析し、研究		
			敗化していく。	専門分	分野の字会や研究	究会にも積極的	引に参加	して、	研究の交流を	はかることにも努力		
		する。	1. 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	工空衫标	尊士課程発表会(- むいア起生!	ア批判	太巫/+	- Z			
		妍九の成未 は2	\ 子阮仙云子()	开九件书	9.上 沐住光衣云(こわいて知口し	ノ (1北十)	で文り	ం			
アクティブラーニン:	グの											
内容	, ,,	ディスカッション	//ディベー	ト/プレ	vゼンテーショ:							
		プレゼンテーショ	ョン、発表内容	字と討論	命への姿勢など(40%)、試験(4	0%)、石	研究の進	進捗度(20%)に	 よって総合的に評		
評価方法と割合		価。										
ルーブリック評価												
課題や試験のフィー	ド	授業時間とオフィ	ィスアワーを利	用1.7	^て フィードバッ・	クを行う.						
バック方法												
履修条件・注意事項										函的な姿勢で討論に参		
事前学習・事後学習		加すること。また	こ、復習をする	5 こと。	メール、携帯電話	、私語、無断	退至、	無断欠	常は厳祭。			
事削子百・事後子百 の時間	د حر	毎回討論に参加す	するために予習	習の徹底	医(毎回2時間)と	:講義後に復習	(毎回 2	2 時間)	をすること。			
オフィスアワー		研究室(9号館、9	412)、春は月	曜日3月	寺限(13:30-15:0	0)、秋は月曜	日2時限	(11:10	-12:40)。			
				禁計画					, -	担当者		
1.オリエンテーション・研究倫	理の	指導							姜			
2.各自の選んだ研究テ	ーマに	合わせた研究文献	犬の報告						姜			
3.各自の選んだ研究を	ーマに	合わせた研究文献	状の報告						姜			
4.各自の選んだ研究を			犬の報告						姜			
5. 資料の収集とまとぬ									姜			
6.資料の収集とまとぬ 7.研究を1.7に合わせた									姜 姜			
7.研究テーマに合わせた 8.研究テーマに合わせた									姜			
9.文献の発表と討論	<u> </u>	・・・中国フト							姜			
10.文献の発表と討論	ì								姜			
11.研究テーマに合わせが		状の紹介							姜			
12.研究テーマに合わせカ	た文南	状の紹介							姜			
13.文献の発表と討論	ì								姜			
14.文献の発表と討論									姜			
	15.文献の発表と討論 姜											
16.単位認定験									姜			
教科書		L12	b	→ ← p.⊥	A + + - V ***	104 1-4 :- :	T- '	+/L . '				
教・書籍名1 研究テー	マに点	心じて、予習がで	きるように講	義時に	参考書・資料な	どを適宜紹介	・配布	教・出	出版社名1			
する。								≯ /- '	C D M 1			
教・著者名1								왨・	SBN1			

教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方	参・出版社名1	同文館
参・著者名1	新堀 聴	参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導	上会学研究指導Ⅱ (大学院授業)				メル	·ヴィオ、ミ	ミカ・マルクス		
	2011~2022年度	吉備国際大学 大	学院 社	会学研究科	1 >					
配当学科・研究科	社会学博士1年				ナンバリン	7				
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数 3	80	授業形	態演習		
年次	1年	開	講期	2022年度秋学	期	曜	日・時限集	中講義		
SDGs関連項目	10. 人や国 すべての人に 10 ⁴⁸⁸⁰²⁴⁸ 14 数 (章)			4. 海の豊かる	さを守ろう/1!	5. 陸の豊	l かさも守ろ [、]	う/16.平和と公正を		
テーマ:博士論文のための研究計画 到達目標:研究計画の完成。 それぞれの専攻分野において研究を発展させ、研究者として自立できる能力を獲得し、博士課程在学中を完成させることをめざして、指導教授を中心にして、社会学研究指導1から社会学研究指導6に至る ス定されている。第1年次においては、研究とは何か改めて確認して、基礎的な理論と方法を学びなおし、関心や問題意識と照合して、研究課題を暫定的に作り上げる。その暫定的な研究課題に即して、関連文収集・整理・分析して、研究課題を次第に精緻化していく。専門分野の学会や研究会にも積極的に参加との研究交流をはかることにも努力する。研究の成果は、年度内に作業論文としてまとめ、1月下旬にる大学院社会学研究科博士課程発表会において報告して、批判をうける。その上で、レフリー審査制の(専門学会誌など)に投稿することを期待する。										
授業概要	研究計画のデ	ザインと作成に耳	なり組む	o						
アクティブラーニン 内容	グの ディスカッシ	ョン/プレゼンラ	テーショ	ン						
評価方法と割合	授業への参加	状況(20%)、「	中間レオ	₹-ト (40%), :	最終試験(40%)	によって	評価する。			
ルーブリック評価										
課題や試験のフィー バック方法	ド評価のために	実施した課題等に	こついて	な、授業および	ゾメール等によっ	ってフィー	・ドバックす	3.		
履修条件・注意事項	社会学研究指	薄1から社会学研	究指導(6 (各2単位) に	至る合計12単位	Zは必修で	ある。			
事前学習・事後学習 の時間	とそ毎回授業で予	・習(30時間)と復習	習(30時間	間)をするための)課題を指示する					
オフィスアワー	12:45-13:00	Tuesdays (classr	oom)							
			計画					担当者		
1. 概要説明・研究倫							M	lerviö		
2. 研究計画について							M	lerviö		
 3. 研究計画の書き方							M	lerviö		
4. 研究計画の骨子							M	lerviö		
5. 研究計画の作成							M	lerviö		
6. 研究計画案への助	言						M	lerviö		
7. 研究計画の口頭発							M	lerviö		
8. 研究計画について							M	lerviö		
9. 研究計画と全体の								lerviö		
10. 研究デザインと写								lerviö		
11. 研究計画の推敲	2111							lerviö		
12. 研究計画の完成								lerviö		
12. 研究計画の元成 13.研究計画の口頭説	5 AB							lerviö Ierviö		
14. プレゼンテーショ										
15. 全体総括Merviö16. 最終試験Merviö										
16. 最終試験							IV	IET VIO		
教科書								In a series of		
教・書籍名	Topic to Defense: ns or Less	Writing a Quality	/ Social	Science Disse	ertation in 18	教・	出版社名1	Helpful Little Books		
教・著者名1 O'reill	y, A. E. et al.					教·	ISBN1	978-1499604139		
							出版社名2			

教・著者名2		教・ISBN2									
参考書											
参・書籍名1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research	参・出版社名1	Thought Clearing								
参・著者名1	Harris, D.	参・ISBN1	978-099645604								
参・書籍名2		参・出版社名2									
参・著者名2		参・ISBN2									

授業科目名	社会学研究指導Ⅲ (担当者 赤坂 真人							
配当学科・研究科	2011~2022年度吉	備国際大学 大	学院を	上会学研究科	ナンバリン	ノ グ			
必修・選択	社会学博士2年 	単位数	2単位		時間数	30		拉米比能	, + 22
	2年					- 現口	授業形態・時限 集中請	演習	
<u></u>	4. 質の高い教育						唯口	・ 吋阪 乗中部	3我
SDGs関連項目	4 * . 頁() 同 (· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	す を	710.	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	y ~ (0) / (c				
到達目標	になる。AIに対抗 をはじめとする 形で役立つか。『	とによって未来 立できるのは 数養教育は「- 同時に「文科系	美食、哲学、宗教 として軽視:	教といった「非 されてきたが、 味で役に立つの	合理的 再び存っ かを明	」な分 在感を らかに	野だけになる7 増している。 する。	東腐化し、時代遅れ だろう。かつて哲学 数養教育はいかなる	
授業概要	整理する。②それ 教養教育の現状で	れらの学問をŜ	学ぶこと	こが、仕事と人名	生にどう役立つ	のかに	関する		の学問の成り立ちを ③現代日本における
アクティブラーニング 内容	ディスカッション	ン/プレゼン .	テーショ	ョン					
評価方法と割合	小テスト (409	%)試験(60	%) に	て評価する。課	題や小論文は挑	採点して	返却す	るので、よく	復習すること。
ルーブリック評価									
課題や試験のフィート	演習の単元が約	佟了するごとり	こ論述記	弐の小テストを行	行う。学生は解	答を教	員のメ	ールボックス	に提出する。教員は
バック方法	採点し、コメン	ト書いて学生に	こ返送す	する。コメントロ	こ納得がいかな	い場合、	、学生	は教員のコメ	ントに反論すること
	ができる。教員に	はそれに対して	てもコン	メント書き返送 ⁻	する。				
履修条件・注意事項		献は必ず読ん ^っ	で内容を	を整理しておく	こと。				
事前学習・事後学習との時間	ニそ 毎学期中、予	習と復習には名	各2時間	程度を要する。					
オフィスアワー	火曜4限(15	: 10~16:40) に、	研究室(9039)	にて実施する。)			
		授業	美計画						担当者
1.オリエンテーショ	ン:倫理教育(研究	倫理に基づく	責任あ	る研究活)				赤坂	Ī
2.テキスト購読・掛	比評							赤坂	Ī
3.テキスト購読・掛	七評							赤坂	₹
4.論文執筆部分の発	巻表と批評							赤坂	₹
5.テキスト購読・批	七評							赤坂	ξ
6.テキスト購読・掛	七評							赤坂	ξ
7.論文執筆部分の発	巻表と批評				赤坂				
8.テキスト購読・批	七評				赤坂				
9.テキスト購読・批	比評							赤坂	ξ
10.論文執筆部分の	発表と批評				赤坂				
11.テキスト購読・	批評							赤坂	Ī
12.テキスト購読・	批評							赤坂	Ž
13.論文執筆部分の	発表と批評							赤坂	Ž
14.テキスト購読・	批評							赤坂	₹
15まとめ									
16.定期試験									
教科書									
	大学教育は仕事の役に	こ立つのか							ナカニシヤ
	由紀(編著)								78-4779513107
-	の教育力 								ちくま新書
教・著者名2 金子:	元久						教・	SBN2 9	78-4480063847
参考書	→ =△					П	4 1		∃
	バス論								温文社
参・著者名1 芦田!	<u> </u>						変・│	SBN1 9	78-4794971623

参・書籍名2	General Education Essentials	参・出版社名2	Wiley
参・著者名2	Paul Hanstedt	参・ISBN2	978-118321850

授業科目名	社会学研究指導Ⅲ	(大学院授業)			担当者	姜	明求
	2011~2022年度	吉備国際大学 大	、学院 社	上会学研究科			
配当学科・研究科	社会学博士2年	ナンバリング					
必修・選択	必須	単位数	2単位		時間数	30	授業形態 演習
年次	2年		講期	2022年度春学		_	日・時限 集中講義
SDGs関連項目	トナーシップ 8 #### 9 ##	で目標を達成し。 12 3/48/1E 17 16		美と技術革新の	基盤をつくろう	∕12. ⊃	つくる責任・つかう責任/17.パ-
到達目標	うために必要	<u>-</u>	仅集、先	た 行研究の精査			F成に取り組む。博士論文の研究を行 とめ方、発表のノウーハウ、論理的思考力
授業概要	を完成させる 第2年次に 点を絞ってい の読み方、研 が絞られてい 導には積極的	ことをめざして、おいては、内外のく。必要に応じて究のデザル、研究のデザル、研究と過程において、は参加して、研究は年度内に作業	指導者 (関連文 で、野の 究目的に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	対授を中心にして 献を読み進め、 別調査やフィールドワ こ合わせたデータラ こよっては、研究 こはかることにこ	て、研究指導 I 文献資料・統語 I-クなどを試みる 解析の方法など 紹方向をやや転 も引き続いて努	から研究指 +資料を可能 る。専門分能 について、 換させる必 力する。	生獲得し、博士課程在学中に博士論な 音導VIに至るステップが設定されている 能な限り収集・分析し、研究課題の 野における資料の探し方、文献・資 具体的に指導する。研究課題の焦度 必要が生まれるかもしれない。研究対 社会学中に、少なくとも論文1編が採
アクティブラーニン内容 評価方法と割合	ディスカッシ	ョン <i>/</i> ディベー ーション、発表[40%)、研3	究の進捗度(20%)によって総合的に記
	価。						
ルーブリック評価							
課題や試験のフィー バック方法	授業時間とオ	フィスアワーを	利用して	、 フィードバッ?	クを行う。		
履修条件・注意事項		数の授業であるのまた、復習をする					ノ、出席して積極的な姿勢で討論に 欠席は厳禁。
事前学習・事後学習 の時間	とそ毎回討論に参	加するために予	習の徹底	ミ(毎回 2 時間) と	:講義後に復習(毎回2時間	間)をすること。
オフィスアワー	研究室(9号館	、9412)、春は月	曜日3時	寺限(13:30-15:0	0)、秋は月曜日	2時限(11:	10-12:40)。
		授美	業計画				担当者
1.村ェンテーション・研究倫 2.各自の選んだ研究デ 3.各自の選んだ研究デ 4.各自の選んだ研究デ 5.資料の収集とまとも 6.資料の収集とまとも 6.資料の収集とまとも 7.研究デーマに合わせた 9.文献の発表と討論 10.文献の発表と討論 11.研究デーマに合わせデ と報告 12.研究デーマに合わせデ と報告 13.文献の発表と討論 14.文献の発表と討論 14.文献の発表と討論 15.総合学習	ーマに合わせた研究 ーマに合わせた研究 ーマに合わせた研究 か方の指導 か方の指導 文献の紹介と報告 文献の紹介と報告 た文献の紹介	文献の報告					

16.単位認定認										
教科書	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
教・書籍名1	研究テーマに応じて、講義時に参考書・資料などを予習ができるように適宜紹介・配布する。	教・出版社名1								
教・著者名1		教・ISBN1								
教・書籍名2		教・出版社名2								
教・著者名2		教・ISBN2								
参考書										
参・書籍名1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方	参・出版社名1	同文館							
参・著者名1	新堀・聴	参・ISBN1								
参・書籍名2		参・出版社名2								
参・著者名2		参・ISBN2								

配当学科·研究科 社 必修·選択	2011~2022年度 吉備国際大学 大学院 社会学研究科社会学博士2年 3/6 第講期 2022年度春 10.人や国の不平等をなくそう/16.平和とでは、できた。 第2年を発展させ、博士課程在学中に博士論文を完成させることを発表を可能な限り収集・分析して、研究課題の焦点を試みる。専門分野における資料の探し方、文献・データ解析の方法などについて、具体的に指導をは、研究方向をやや転換させる必要が生まれるか部との研究交流をはかることにも引き続いて努力に予定されている大学院社会学研究科博士課程発読付きの学術雑誌(専門学会誌など)に投稿する	サンバリング 時間数 30 時間数 30 示学期 公正をすべての人に 研究者として自立でき めざして、指導教授を呼取においては、内外の 一般っていく。必要に応 資料の読み方、社会調 でうける。研究課題が終いましれない。専門分野	中心にして、社会党)関連文献を読み進 じて、事例調査や 査の企画とデザイン られていく過程に	中講義 対研究指導1から社会学研 が、文献資料・統計資料 フィールドワークなどを ン、研究目的に合わせた
本 必修・選択 年次 2 SDGs関連項目 到達目標	年 単位数 2単位 年 10.人や国の不平等をなくそう/16.平和と知る 10.人や国の不平等をなくそう/16.平和と知る 10. 人や国の不平等をなくそう/16. 平和と知る 10. 人や国の不平等をなくそう/16. 平和と知る 16. 平和と知	時間数 30 科学期 公正をすべての人に 研究者として自立できめざして、指導教授を呼 手次においては、内外の 一般っていく。必要に応 資料の読み方、社会調 うける。研究課題が絞いましれない。専門分野 はる。研究の成果は、	曜日・時限 集 る能力を修得する。 中心にして、社会的 関連文献を読み進 じて、事例調査や 査の企画とデザイニ られていく過程に	中講義 神研究指導1から社会学研 あ、文献資料・統計資料 フィールドワークなどを ン、研究目的に合わせた
年次 2 SDGs関連項目	年 開講期 2022年度者 10.人や国の不平等をなくそう/16.平和と 10.人や国の不平等をなくそう/16.平和と 10.提供 16.提供 16.提供 16.提供 16. 平和と 10. 大学院社会学研究科博士課程を 10. 大学院社会学研究科 10. 大学店 10. 大学店 10. 大学店 10. 平和と 10. 大学院社会学研究科博士課程を 10. 大学店 10. 平和と 10. 下平和と 10. 下平和と 10. 下平和と 10. 下平和と 10. 下平和と 10. 下平加速 10. 下一多解析の方法などについて、具体的に指導を 10. 大学院社会学研究科博士課程発	学期 公正をすべての人に 研究者として自立でき めざして、指導教授を「 下次においては、内外の 一 一 一 一 一 一 一 で うける。研究課題が絞 い い し い も しれない。専門分野 は の の の の の の の の の の の の の の の の に の の の い の い	曜日・時限 集 る能力を修得する。 中心にして、社会的 関連文献を読み進 じて、事例調査や 査の企画とデザイニ られていく過程に	中講義 神研究指導1から社会学研 あ、文献資料・統計資料 フィールドワークなどを ン、研究目的に合わせた
SDGs関連項目 到達目標	10. 人や国の不平等をなくそう/16. 平和と記している。 第2年 ままないのでは、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかいます。 第2年 は、研究方向をやや転換させる必要が生まれるかいます。 第2年 は、研究方向をやや転換させる必要が生まれるからないの子学院社会学研究科博士課程発	公正をすべての人に 研究者として自立でき めざして、指導教授を中 下次においては、内外の 絞っていく。必要に応 資料の読み方、社会調 うける。研究課題が絞 いもしれない。専門分野 する。 研究の成果は、	る能力を修得する。 中心にして、社会党 関連文献を読み進 じて、事例調査や 査の企画とデザイミ	。 学研究指導1から社会学研 ほめ、文献資料・統計資料 フィールドワークなどを ン、研究目的に合わせた
到達目標	10 2000年 16 2000年 16 2000年 16 2000年 16 2000年 2	研究者として自立できめざして、指導教授を「下次においては、内外の 一次においては、内外の 一次においては、内外の 一次でいく。必要に応 資料の読み方、社会調 でうける。研究課題が絞い でしれない。専門分野 でする。研究の成果は、	中心にして、社会党)関連文献を読み進 じて、事例調査や 査の企画とデザイン られていく過程に	学研究指導1から社会学研 はめ、文献資料・統計資料 フィールドワークなどを ン、研究目的に合わせた
	到達目標: それぞれのテーマで研究を発展させ、博士課程在学中に博士論文を完成させることを究指導6に至る ステップが設定されている。 第2年を可能な限り収集・分析して、研究課 題の焦点を試みる。専門分野における資料の探 し方、文献・データ解析の方法などについ て、具体的に指導をは、研究方向をやや転換させ る必要が生まれるか部との研究交流をはか ることにも引き続いて努力に予定されている大学院社会学研究科博士課程発	めざして、指導教授を中 下次においては、内外の 一絞っていく。必要に応 資料の読み方、社会調 うける。研究課題が絞 いもしれない。専門分野 はする。研究の成果は、	中心にして、社会党)関連文献を読み進 じて、事例調査や 査の企画とデザイン られていく過程に	学研究指導1から社会学研 はめ、文献資料・統計資料 フィールドワークなどを ン、研究目的に合わせた
授業概要	掲載されることを期待する。		、批判をうける。・	も積極的に参加して、外 としてまとめ、1月下旬 その上で、レフェリー査
	1年次で完成させた研究計画をもとに、先行研究の	D批判的読解を深める。		
アクティブラーニング	0			
内容				
評価方法と割合	授業への参加状況・積極性(20%)、2回の中間レ 40%)によって評価する。	ンポート(40%) 、最終	試験 (プレゼンテ	ーションおよびレポート
ルーブリック評価	,			
課題や試験のフィード バック方法	評価のために実施した課題等については、授業お			3.
履修条件・注意事項	社会学研究指導1から社会学研究指導6(各2単位)	に至る合計12単位は必	必修である。	
事前学習・事後学習との時間	そ 毎回授業で予習(30時間)と復習(30時間)をするため	めの課題を指示する。		
オフィスアワー	12:45-13:30 Tuesdays (in classroom)			
	授業計画			担当者
1. 授業の概要説明・研	究倫理教育		М	erviö
2. 先行研究の意味			М	erviö
3. 先行研究の検索			М	erviö
4. 先行研究の読解			М	erviö
5. 先行研究への批判的	視座		М	erviö
6. 先行研究についての	論考		М	erviö
7. 中間まとめ			М	erviö
8. 研究情報の収集			М	erviö
9. 研究情報の検索			М	erviö
10. 研究情報の読解・要	更約		M	erviö
11. 研究情報のファイ!			M	erviö
12. 資料の解釈				erviö
13. 資料の比較検討				erviö
14. 資料に基く考察				erviö
15. 考察から論述へ				erviö
16. 最終試験				erviö
教科書				
	pic to Defense: Writing a Quality Social Science Di	ssertation in 18	教・出版社名1	Helpful Little Books
DAY HART TILLUMIN IV		550. (4.101) 111 10	<u></u>	
数・音相石 I From To Months			教・I S B N 1	Ī

教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書耤名↓	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research	参・出版社名1	Thought Clearing
参・著者名1	Harris, D.	参・ISBN1	978-099645604
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会		(大学院授	業)		担当者		赤坂	真人		
配当学科・研究科	201	1~ 2022年度 吉	備国際大	学 大学院 袺	上会学研究科	ナンバリング					
即日子件・研先件	社会	学博士2年) / / / / /					
必修・選択	必	修	単位数	2単位		時間数	30		授業形態	態	演習
年次	2年			開講期	2022年度秋学				・時限集		•
SDGs関連項目		4. 質の高い教 4 MARINE 10 APBORE 4 MARINE 10 APBORE		に/10.	人や国の不平等	≨をなくそう ∕	16.	平和と	公正をすへ	ヾての	人に
到達目標		実験・結果・考 読が重要な研究 到達目標:博 博士論文の全	終学年であ 察という/ 方法となる 士論文の草 体像が明ら 会発表は執	るから、 ii パターンがあ 。 これまつ 稿完成 。かになる。	あるが、人文社会での研究の蓄積の での研究の蓄積の まで執筆指導を行	会系では実験か り上に博士論文 □ つままでは、	「不可能 でを完成 でを完成 で観的評	どである なさせる F価のた	ため、質的。 。 めに学会発	・量	然科学では仮説・ 的調査と文献の購 できるところまで なるので、今学期
授業概要		博士課程の学れについてその	•								稿を執筆する。こ 指導する。
アクティブラーニン	グの	ディスカッショ	ン/ディベ	ミート/プレ	レゼンテーション	/					
内容		計除 (50%)	レ劫等診さ	(50%) (ことって評価す	ス 評価につい	·ア1+/	人主!	かぜるの	トニナ	・評価になったのか
内容 評価方法と割合									なぜその。	ようた	:評価になったのか
評価方法と割合		試験(50%) 説明するので納							なぜその。	ようた	:評価になったのか
		説明するので納	得がいかな	い場合は日	申し出ること。言	説明と話し合い	いに応し	ぶる。			評価になったのか 提出する。教員は
評価方法と割合ルーブリック評価	ド	説明するので納	得がいかな 終了するこ	い場合はほごとに論述っ	申し出ること。言	説明と話し合い 行う。学生は解	いに応し ないである。 ないである。	ざる。 対員のメ	ールボック	ノスに	
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー	۲	説明するので納	得がいかな 終了するこ ト書いて学	い場合は ほことに論述する 生に返送す	申し出ること。言 式の小テストを行 する。コメント <i>に</i>	説明と話し合い テう。学生は解 こ納得がいかな	いに応し ないである。 ないである。	ざる。 対員のメ	ールボック	ノスに	提出する。教員は
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー	۲	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対	い場合はE ごとに論述ュ 空生に返送で けしてもコン	申し出ること。言 式の小テストを行 する。コメント <i>に</i>	説明と話し合い すう。学生は解 に納得がいかな する。	いに応し 解答を教 い場合	ごる。 対員のメ 介、学生	ールボックは教員のコ	ノスに	提出する。教員は
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法	۲	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて	*とに論述ュ *とに論述ュ *生に返送。 *なく社会原	申し出ること。言 式の小テストを行 ける。コメント (メント書き返送す 思想、政治哲学が	説明と話し合い すう。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。	ノスに	提出する。教員は
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項	۲	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて	*とに論述ュ *とに論述ュ *生に返送。 *なく社会原	申し出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (くント書き返送で	説明と話し合い すう。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。	ノスに	提出する。教員は
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間	۲	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に	*とに論述ま *とに論述ま *生に返送す †してもコン *なく社会別 は4時間以	申し出ること。言 式の小テストを行 ける。コメント (メント書き返送す 思想、政治哲学が	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。	ノスに	提出する。教員は
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間	۲	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ま *とに論述ま *生に返送す †してもコン *なく社会別 は4時間以	申し出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (くント書き返送す 思想、政治哲学が 上を要する。実	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。	ノスに	提出する。教員は
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー	ドとそ	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。 う。	ノスに	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ	ドとそン:作	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の= 。 う。	7スに	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究方法の妥当性に	ド とそ こつい	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。 う。	・スに1メン	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究方法の妥当性に 3.何がどこまで明られ	ド とそ こつい	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。 う。	,スに 1メン 赤坂 赤坂	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究方法の妥当性に 3.何がどこまで明らた 4先行研究チェック	ド とそ こつい	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールポック は教員の二 。 う。	・スに1メン 赤坂 坂	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究方法の妥当性に 3.何がどこまで明られ 4先行研究チェック 5.命題の適切性	ド とそ こつい	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の言	パスにソン 赤赤赤赤坂 坂 坂 坂 坂 坂	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究方法のでチェック 5.命題の適切性 6データの適切性	ド とそ こつい	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。教員 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。 う。	カスロン 赤赤赤赤赤赤赤赤状坂坂坂坂	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテージョとは 3.何がどこまで明られ 4先行研の適切性 6データの適切性 7.検証の適切性	ド とそ ン: for こついかに?	説明するので納 演習の単元が 採点し、コメン ができる。基礎 毎学期中、論 火曜4限(15 命理教育(研究係	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の二。	, スメン 赤赤赤赤赤赤赤赤赤状坂坂坂坂坂	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究方法の変更が研究が研究がでのででである。データの適切性 7.検証のな整合性の表	ド とそ ン:作 につい た?	説明するので納 演習の単元が 採点し、る。教 社会学の基礎 毎学期中、論 火曜4限(15	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の言	,スメ 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショとは、3.何がどて研究がどこまでエリンクランの適切性 4先行の適切性 5.命題のの切性 7.検証のの適切性 8.ミクロ整合性のチェックの要	ド とそ ン:作 でつい た?	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。 う。	カスメーニー 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤状坂坂坂坂坂坂坂坂坂	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテージョと、研究方法の適切性 3.何がどこまで明られる。だの適切性 6データの適切性 7.検証のな整合性のチェック 9.マクロ整合性のチェーク 10.第1回目プレゼン・	ド とそ ン:作 でつい た?	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の言。	,スメ 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や対法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究がど研究が近研の適切性 4先行の適切性 6データの適切性 7.検証のな整合性のチョンマクロ整合性のチョンマクロ整合性のチョンの第1回目プレゼン・11.個別的修正	ド とそ ン:作 でつい た?	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の言。	,スメ 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショとのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ド とそ ン:作 でつい た?	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールポック。	アコーニー 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や対法 履修条件・注意事項 事前学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研究がど研究のですがとこまチェリンでののででである。でででいた。ででいた。ではいたでではでいた。ではいたがでいるのではいた。ではいた。ではいたがではいた。ではいたがではいた。ではいたがではいたがではいたができません。ではいいでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ド とそ シニかに ? チェアーシ	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の言。	スメ 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や対法 履修条件・主意事項 事が計算 の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショ 2.研がど研のあるでチェリック 5.命題ののでないであるがでいた。でではいるのではである。ではいる。ではいる。ではいる。ではいる。ではいる。ではいる。ではいる。ではい	ド とそ ン: 作 ン つい ? エックシン こかに ? シェテーシン	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボック は教員の = 。 う。	,スメ , 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・主意事項 事的時間 オフィスアワー 1オリエンテーショと 3.何がが研究がど研究がが研究がが研究がが研究がが研究が増生 6データの適切性 8.ミクロ型を合性のチェークの第1回的修正 12.査読(1) 13.査読(2) 14.プレ投稿のチェック 15.論か	ド とそ ・	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の二。	フォーニー 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間	ド とそ ・	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	ざる。 対員のメ か、学生 らくこと	ールボックは教員の二。	,スメ 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリックのフィーバック方法 履修条件・事後学習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショーでででは、一点のでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点	ド とそ ・	説明するので納 演習の単元が 採点しる。数基礎 在学期中、論 火曜4限(15) ・で	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	がる。 対員のメ らくこと 上だろ	ールボックは教員の二。	,スメ 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤	提出する。教員はトに反論すること
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や方法 履修条件・事後習の方法 履修条件・事後習の時間 オフィスアワー 1オリエンテーショとはのがですがですがですがですがですがですがですがですがですがですがですがですがですが	ド とそ シンこか チェアー ンク験 一号の	説明するので納 演は、 演は、 で会学の 毎学期中、 大曜 4 限(15 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	得がいかな 終了するこ ト書いて学 はそれに対 理論だけて 文の執筆に :10~16	*とに論述ュ *とに論述ュ *とに返送。 けしてもコラ *なく社会見 は4時間以 :40) に、 授業計画	まし出ること。言 式の小テストを行 する。コメント (イント書き返送で 思想、政治哲学が 上を要する。実 研究室(9309)	説明と話し合い 一方。学生は解 こ納得がいかな する。 などの知識も持 際には毎日41	いに応し 解答を教 い場合	がる。 対員の 学生 と 大き、こころ 教・出	ールボック。	フューニー 赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤赤 しにン 坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂坂	提出する。教員はトに反論すること担当者

教・著者名2	G.キング・他	教・ISBN2	978-4326301508
参考書			
参・書籍名1		参・出版社名1	
参・著者名1		参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導IV	(大学院授業)			担当者	姜	 長 明求
#7 \\ \text{24.4\\ \text{7\\ \x\}\} \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	2011~2022年度	吉備国際大学 大	学院 社	上会学研究科	1.5	, An	
配当学科・研究科	社会学博士2年				ナンバリン		
必修・選択	必須	単位数	2単位		時間数	30	授業形態演習
年次	2年	開	講期	2022年度秋学	期	-	曜日・時限 集中講義
SDGs関連項目	トナーシップ	で目標を達成し。 12 ³³⁸⁸ 17 m		美と技術革新の	基盤をつくろう	/12.	つくる責任・つかう責任/17. パー
到達目標	うために必要	-	汉集、 先	た 行研究の精査)作成に取り組む。博士論文の研究を行 ことめ方、発表のノウーハウ、論理的思考力
授業概要	を完成させる 第2年次に‡ 点を絞ってい の読み方、研 が絞られてい	ことをめざして、 らいては、内外の く。必要に応じて 究のデザ ひ、研? く過程において、	指導教 関連文 て、事例 究目的に 場合に	対授を中心にして 献を読み進め、 別調査やフィールド! こ合わせたデータ こよっては、研?	て、研究指導 I 文献資料・統記 ロークなどを試みる 解析の方法など 究方向をやや転	から研究 十資料を「 る。専門な について 換させる	のを獲得し、博士課程在学中に博士論で 記指導VIに至るステップが設定されている 可能な限り収集・分析し、研究課題の 分野における資料の探し方、文献・資 て、具体的に指導する。研究課題の焦り が必要が生まれるかもしれない。専門会 続いて努力する。
アクティブラーニン: 内容	グの ディスカッシ	ョン/ディベー	ト/プレ	vゼンテーショ ï	~		
評価方法と割合	プレゼンテー	ション、発表内容	容と討論	扁への姿勢など(40%)、研究の流	生捗度(60	0%)によって総合的に評価。
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法	授業時間とオ	フィスアワーをオ					
履修条件・注意事項	加すること。	数の授業である(また、復習をす ⁾					:し、出席して積極的な姿勢で討論にも 断欠席は厳禁。
事前学習・事後学習の時間	とそ毎回討論に参	加するために予	習の徹底	医(毎回2時間)と	:講義後に復習((毎回2時	持間)をすること。
オフィスアワー	研究室(9号館	、9412)、春は月	曜日3時	寺限(13:30-15:0	0)、秋は月曜日	12時限(1	1:10-12:40)。
							担当者
1.オリエンテーション・研究倫	 理の指導						姜
2.各自選んだ研究テーマ	,に合わせた研究文i	献の報告					姜
3.各自選んだ研究テーマ	,に合わせた研究文i	献の報告					姜
4.各自選んだ研究テーマ	,に合わせた研究文i	献の報告報					姜
5.資料の収集とまとと	め方の指導						姜
6.資料の収集とまとと	め方の指導の						姜
7.研究テーマに合わせた	文献の紹介と報告						姜
8.研究テーマに合わせた							姜
9.文献の発表と討論							姜
10.文献の発表と討論	ì						姜
11.研究テーマに合わせフ		<u>-</u>					姜
12.研究デーマに合わせ7							姜
13.文献の発表と討論		•					姜
13.文献の発表と討論 14.文献の発表と討論							姜
14.文献の発表と討論 15.文献の発表と討論							女 姜
15.文献の光表と討論 16.全体のまとめと試							姜
教科書							<u> </u>
教・書籍名1 研究テー		「できるように講	義時に	参考書・資料な	どを適宜紹介・	配布教	文・出版社名1
する。	, , , , , ,	· HI3		2.1. 2011.0			
0							

教・著者名1		教・I S B N 1	
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書		32 100112	
		/s	
参・書籍名 1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方	参・出版社名1	同文館
参・著者名1	新堀 聴	参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究		 (大学院授業)		担当者	メルヴィオ、	ミカ・マルクス
	2011~ 2)22年度 7	吉備国際大学 大学院 社会学研	研究科 -			
配当学科・研究科	社会学博:	-2年			ナンバリング		
必修・選択	必修		単位数 2単位		時間数 30	授	業形態 演習
年次	2年		開講期 2022	生度秋学期	Я	曜日・時限	集中講義
SDGs関連項目	1 0.	16 ##8223	O不平等をなくそう/16. [☆] ** 	平和と公正	をすべての人に		
到達目標	到そ士プ析けにさこ会がしるつせと学	標:博士を定て、明の成立を記し、料の、大きのでは、、料の、大きので、というのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	果題の焦点を絞っていく。必 し方、文献・資料の読み方、 本的に指導をうける。研究課 生まれるかもしれない。専門	せ、研究者 教授を内外応調を中心 要社ののでする。 はがのの年批判のののです。 はて、 はて、 はて、	として自立できるにして、社会学の連文献を読み進めて、事例調査やフルでいく過程においている過程においていた。その子の企った。その子のようにも積らに作業論文としている。その上	る能力を獲得し、 研究指導1から社 か、文献資料・統 ィールドワークな 、研究目的に合わいて、場合によっ 極的に参加して、 で、レフリー審査	会学研究指導6に至る ステッ計資料を可能な限り収集・分などを試みる。専門分野におっせたデータ解析の方法などっては、研究方向をやや転換外部との研究交流をはかるで旬に予定されている大学院社覧制をとる学術雑誌(専門学
授業概要	研究	献の精読		とする。			
アクティブラーニン	グの			0			
 内容	ディン	カッショ	ョン/プレゼンテーション				
評価方法と割合	授業を	の参加状	犬況(20%), 中間レポート(40	%), 最終討	験(プレゼンテ-	ーションおよびレ	ポート40%)によって評価す
ルーブリック評価							
課題や試験のフィー バック方法	ド評価の	ために実	『施した課題等については、技	受業および	メール等によって	てフィードバック	' する。
履修条件・注意事項	社会	研究指導	- 第1から社会学研究指導6(各2	2単位)に	至る合計12単位に	************************************	
事前学習・事後学習の時間	とそ		習(30時間)と復習(30時間)をす				
オフィスアワー	12.45	13:00 Tı	uesdays (classroom).				
77177	12.43	13.00 10	Jesuays (classroom). 授業計画				担当者
1 柳西兴中 邓克伦	四北去		技未計画				
1. 概要説明・研究倫							Merviö
2. 研究計画について							Merviö
3. 研究計画の書き方							Merviö
4. 研究計画の骨子							Merviö
5. 研究計画の作成	_						Merviö
6. 研究計画案への助							Merviö
7. 中間発表(中間レ							Merviö
8. 研究計画について							Merviö
9. 研究計画と全体の							Merviö
10. 研究デザインと写	実際						Merviö
11. 研究計画の推敲	:課題の明	E化					Merviö
12. 研究計画の完成							Merviö
13.研究計画の口頭説	钥						Merviö
14. 研究プレゼンテ-	ーション準	自					Merviö
15. 全体総括							Merviö
16. 最終試験							Merviö
教科書							•
教・書籍名1 From	Topic to D	fense: W	Vriting a Quality Social Scier	nce Disser	tation in 18	教・出版社名	김 Helpful Little Books
Month	ns or Less						

教・著者名1	O'reilly, A. E. et al.	教・ISBN1	978-1499604139
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective	参・出版社名1	Thought Clearing
	Research	多 田瓜田石工	Thought oldaning
参・著者名1	Harris, D.	参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導 V ((大学院授業)		担当者赤坂 真人				
#7 \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	2011~2022年度吉	備国際大学 大学院 裆	土会学研究科	ナンバリング				
配当学科・研究科	社会学博士3年			ナンバリン				
必修・選択	必修	単位数 2単位	-	時間数	30		授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学	 期		曜日・	時限 集中	講義
	4. 質の高い教	育をみんなに/10.	人や国の不平等	等をなくそう/	16.	平和とな	公正をすべて	の人に
SDGs関連項目	4 ROBURE 10 MECH	16 *##2026 ***********************************						
到達目標	て質的・量的調整 到達目標	査を行う。具体的方法	去はフィールド「	フーク・統計調	査法を	用いる。		該フィールドについ 学会での報告を目指
授業概要		筆を目指す。具体的に できない場合は次回る			執筆し、	、それる	を教員ととも	に批判的に検討す
アクティブラーニン	グのディスカッショ	ン/プレゼンテーショ	ョン					
内容	, 1 // / / 3							
評価方法と割合	試験(100%)	によって評価する。	課題や小論文は	採点して返却	するので	でよる復	要習すること。	
ルーブリック評価								
課題や試験のフィー	ド 課題や試験は	メールで教員に提出す	する。教員は添削	削・コメントを	加え学	生に返済	送する。学生	は教員の指示に従い
バック方法	修正するか反論	する。それに対して碁		を書き返送する	0			
履修条件・注意事項		する知識が必須である でに1~2本書いてい			望まし	い。		
事前学習・事後学習	とそ 毎学期中、予	習と復習には各2時間	程度を要する。					
の時間	1 27 4 25 /45	10 10 10	==					
オフィスアワー	火曜4限(15	: 10~16:40) で、	研究室 (9309)	にて実施する。	•			10 W +/
1 + 11 + 2 - 2 - 2	ョン:倫理教育(研究	授業計画	7 Ⅲの注)				赤虫	担当者
1オリエンテーシ 2.研究計画・進捗		1.冊柱に奉りく貝仕の	つの 気活力				赤	
2.研究計画・進抄1 3先行研究のレビ							赤	_
3光行研究のレヴ 4先行研究のレヴ	` ′						赤	
5執筆部分に関す	` ′						赤	
5執筆部分に関す 6執筆部分に関す	- 32 1 31.3 12 (43						赤	
7.中間発表 (プレー							赤	
8.論文の批判的検							赤	
9.論文の批判的検討	•						赤	
10.論文の批判的研							赤	
11.論文の批判的検	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						赤	
12.論文の批判的検							赤	
13.形式についての							赤	
14.プレゼンテーシ							赤	
15.まとめ							赤	
16.定期試験							赤	反
教科書								
教・書籍名1 質的	 りデータ分析法				I	教・出	版社名1	
	都也					教・I	SBN1	978-4788510951
教・書籍名2 社会	調査のためのテキス	ト計量分析				教・出	版社名2	ナカニシヤ出版
教・著者名2 樋口	耕一					教・I	SBN2	978-4779508035
参考書								
参・書籍名1 これ	から論文を書く若者は	7+41-					版社名1	共立出版
多 自相石エ これ	がり調文を書く右右に	/) /= Ø) (C				У Ш/	以江石工	<u> </u>
	- 聡樹)) /						<u> </u>

参・書籍名2	参・出版社名2	
参・著者名2	参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導 V (大学院授業)		担当	者	姜 明	求	
和业学彩。研究彩	学科・研究科 2011~ 2022年度 吉備国際大学 大学院 社会学研究科		学院 社会学研究科	ナンバリング				
11日子科 11 11九科	社会学博士3年) ///	29			
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	30		授業形態	演習
年次	3年	開	講期 2022年度春学	:期		曜日・	· 時限 集中請	構義
	8. 働きがいも	経済成長も/	9. 産業と技術革新の	基盤をつくろ	う/12	. つく	る責任・つか	う責任/17.パー
	トナーシップで	目標を達成し。	よう					
SDGs関連項目	8 働きがいる 3 産業と技術宣称 3 産業を対応する	12 つくる責任 17 パ つかう責任 17 パ	・トナーシップで 長き渡しよう					
			₩					
	「テーマは論文	の完成」である	る。到達目標は、質が	高い博士論文	の作成に	取り組	む。博士論文	の研究を行うために
到達目標	必要な文献、資	料の収集、先行	亍研究の精査・分析の]	方法、文章の	まとめ方	、発表	のノウーハウ、論理	里的思考力、コミュニケーショ
	ン能力などの養成	えを目標にする	。「論文の書き方の理	解」がテーマ	7である。			
	それぞれの専攻な	分野において	开究を発展させ、研究:	者として自立	できる能	力を獲	得し、博士課	程在学中に博士論文
			指導教授を中心にし					-
			ら、博士論文の完成を	-				
			別指導教授の個人指導					
授業概要			実の研究過程は、社会				なマニュアル通りに	こ 進められとは限ら
			究の各ステップの往復を縛			-	ヨルマキャル	2日中旬に図点され
			例年1月中旬に設定さ 上論文審査会において					
	査を経て、3月に			似古して批判	2251	金里で	ノりつ。 番目:	安貝云(3石)による笛
	且で経じ、3万に	- は 等工 赤住 6	.] こなる。					
アクティブラーニング	グの							
内容	ディスカッショ	ン/ディベー	ト/プレゼンテーショ	ン				
	ププレゼンテー	ション、発表に	内容と討論への姿勢な	ど(40%)、試測	澰(40%)、	研究の	進捗度(20%)	 によって総合的に評
評価方法と割合	価。	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- H3 MIG - 2023 G	_ (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
ルーブリック評価								
課題や試験のフィー	ドャップは明んよう	, = = p + 1		カナ 仁 3				
バック方法	投耒时间とオノ	イスアワーを	列用してフィードバッ	クを打り。				
履修条件・注意事項	大学院は少人数の	の授業であるの	ので、問題意識を持つ	と共に、しっ	かり予習	をし、	出席して積極	的な姿勢で討論に参
版 沙木口	加すること。ま	た、復習をする	ること。メール、携帯電話	5、私語、無醫	所退室、無	無断欠席	5は厳禁。	
事前学習・事後学習の	とそ 毎回討論に参加・	するために予	習の徹底(毎回2時間)。	∠講義後に復 ³	習(毎回2	時間)を	とすること。	
の時間					-			
オフィスアワー	研究室(9号館、9		曜日3時限(13:30-15:0	0)、秋は月頃	日2時限((11:10-	12:40)。	10 V/ +/
1 +11+12-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	田の七道	授美	巻計画					担当者
1.ポリエンテーション・研究倫 2.論文の発表と討論(
Z.論文の発表と討論(3.論文の発表と討論(
4.論文の発表と修正(
5.論文の発表と修正(
6.論文の発表と修正(
7.論文執筆の修正(各)								
8.論文執筆の修正(各								
9.論文の発表と内容の	の修正							
10.論文の発表と内容	の修正							
11.論文の発表と内容	の修正							
12.論文の発表と内容	の修正							
13.論文の確認と編集								
14.論文の確認と編集	(各人)							
15.総合学習								
16.単位認定試験 								
教科書		4 + +	1 194	·	;	*/1:		
叙・書耤名 ↓ 研究テー	マに応じて、講義時に	参考書・資料	などを予習ができるよ	っに適宜紹介	ト・配布	教・出	放仕名 ↓	

	する。		
教・著者名1		教・ISBN1	
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方	参・出版社名1	同文館
参・著者名1	新堀 聴	参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究	.指导Ⅴ (大子阮5	受業)		担	.当者	メルツ	゙ ィオ、ミ	カ・マ	マルクス
ᇑ기사음의 7파큐의	2011~ 20	22年度 吉信	備国際大	大学 大学院	完 社会学研究科	٠,,,	VII.V.F				
配当学科・研究科	社会学博士	3年				·	ベリング				
必修・選択	必修		単位			時間数	效 30		授業形		演習 exercises
年次	3年			開講期				曜日	・時限	[中請	養
SDGs関連項目	1 0. 10 APRO	16 ### 16 #############################	下半等を	なくそう。	/16. 平和と	公正をすべて	この人に				
到達目標	到 そさ て結 『 方 を も ば 、 ま く な り き 2 が	ことをめる。 第3年次 にどを覧』に だって いっこ でいました がいまい ない にっこ て がい にん いっこ ない がい がい がい がい かい	会でどくととこれを かって しおして もり 定の ていい 、さる は 。れ	成. 完成 表現 表現 表現 表現 表現 表現 表現 表別 表記 ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままままままままま	を中心にして、たすら、博士学におよび副指導教とおりである。 ル通りに進めら門分野の学会や 論文の提出締切 学院社会学研究	社会学研究指 対論文の完成 授の個人指導 見実の論文作 いるとは限ら 研究会にも積 りは、例年1	i 導1から社 をめざす。 i p のもとに F 成過程は、 っず、この i t t t l 月 中 旬 に ま に た り に り に り に り し し に り し し し し し し し	会学研究 それま 進められ 「社会 没階にお 切して、 ひ定され	記指導6に での作業 いる。「博 学研究法 いてもとの なおり、	至論士や究死の	中に博士論文を完成 ステップが設定され 投稿論文、調査集 位論文作成要領」に 「学術論文の書 き の各ステップの 往復 交流をは かることに 寺期までに提出できた 審査委員会による
授業概要	博士論	文の執筆を	を実際に	行いなが	ら助言し論文作	成をサポート	する。				
アクティブラーニン	グのニュコ	<u></u>	. / - 01	125. —	`						
内容	714	カッション	////	・センテー	ンヨン						
									3, - 3, +	トッド	
評価方法と割合			兄(20%)、	、2回の中	間レポート(40	%)、最終詞	試験(プレ	ゼンテー	-/ = / 42	よひ	シャポート 40%)によっ
	授業へて評価		兄(20%)、	、2回の中	間レポート(40	%)、最終記	試験(ブレ	ゼンテー	- <i>/</i> 3 / 40		ドレポート 40%)によ
ルーブリック評価 課題や試験のフィー	て評価	する。			間レポート(40						ドレポート 40%)によ
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法	て評価ド 評価の	する。	拖した課	題等につ		よびメール等	こう こうこう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう しゅう しゅうしゃ しゃ しゅう	フィード	バックす		· レポート 40%)によ
評価方法と割合 ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間	て評価 ド 評価の 社会学	する。 ために実施 研究指導1	をした課から社会	思題等につ ¹ 会学研究指	いては、授業お	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす		· レポート 40%)によ
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間	て評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授	する。 ために実施 研究指導1	他した課 から社会 30時間)	思題等につ ¹ 会学研究指 と復習(30	いては、授業お á導6(各2単位))時間)をするたと	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす		· レポート 40%)によ
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間	て評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(:	他した課 から社会 30時間)	思題等につ ¹ 会学研究指 と復習(30	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす		(レポート 40%)により (10%)により (10%)
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー	て評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45-	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックする。		担当者
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・	て評価が 計 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 	る。	担当者
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の確	て評価が 計 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 M	る。 Mervi Mervi	担当者 Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の確 3. 論文の構成	て評価が 計 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N	る。 //ervi	担当者 Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の確 3. 論文の構成 4. 論文の章立て	て評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N	る。 Mervi Mervi Mervi	担当者 Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の確 3. 論文の構成 4. 論文の章立て 5. 論文執筆状況の発	て評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N	る。 Mervi Mervi Mervi Mervi	担当者 Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の確 3. 論文の構成 4. 論文の章立て 5. 論文執筆状況の発 6. 中間まとめ	で評価 ド 評価の 社会学 をそ 毎回授 12:45- 研究倫理教で認	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お 5導6(各2単位) 0時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N N	る。 Mervi Mervi Mervi Mervi Mervi	担当者 Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の確 3. 論文の構成 4. 論文の章立て 5. 論文執筆状況の発 6. 中間まとめ 7. 結論の書き方に関	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教 認	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。	Aervi Mervi Mervi Mervi Mervi Mervi	担当者 ö ö ö ö ö ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の確 3. 論文の構成 4. 論文の構成 4. 論文の章立て 5. 論文執筆状況の発 6. 中間まとめ 7. 結論の書き方に関 8. 結論の執筆状況の	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教 認	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N N N N	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 ö ö ö ö ö ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の 4. 論文の構成 4. 論文の構成 4. 論文の報単状況の発 6. 中間まとめ 7. 結論のまとめ方に関の 9. 結論のまとめ方	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教 認	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N N N N	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の 3. 論文の構成 4. 論文の章並状況の発 6. 中間まとめ 7. 結論のまとめ 7. 結論のまとめ方 10. 文献リスト	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教 認	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックする。	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習・事後学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立てと構成の 3. 論文の構成 4. 論文の章並状況の発 6. 中間まとめ 7. 結論のまとめ 7. 結論のまとめ方 10. 文献リスト	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教 認	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックする。	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立文の概要説明・ 3. 論文の構成 4. 論文の執き立て 5. 論文執きが、この発 6. 中間まとめ 7. 結論のの執きが、に関の 9. 結論のまとりに関の 9. 結論のまとりに関の 9. 結論の提出	で評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教・ 歌 告 まる助言	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 ö ö ö ö ö ö ö ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立ての概要説明・ 3. 論文の構成 4. 論文の構成 4. 論文の構成 5. 論計をある 6. 中間まとめ 7. 結論のまとと 7. 結論のまとめ方 10. 文献リスト 11. 論文イトルの付けが	で評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究倫理教・ 歌 告 まる助言	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N N N N N N N N	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 ö ö ö ö ö ö ö ö ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立の概要説明・ 3. 論文の構成 4. 論文の章筆状況の 5. 論間の動きとある 7. 結論のの動きとある 7. 結論のの動きという 10. 文献リスト 11. 論文イトルの付け 13. 引用の書方	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究 本 13:45- 研究 本 3 ま 4 ま 5 ま 5 ま 6 ま 6 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックする。	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章立文の概要説明・ 3. 論文の構成立て 5. 論文文報を構成 4. 論文本報を表 6. 中間まとめ 7. 結論のの執まとめ 7. 結論のの執まとりに関の 9. 結論のよっト 11. 論文イトルの付け 13. 引用の書き方 14. 論文構成への助言	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究 本 13:45- 研究 本 3 ま 4 ま 5 ま 5 ま 6 ま 6 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックす る。 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事前学習の時間 オフィスアワー 1. 授業の概要説明・ 2. 章文の概要説明・ 3. 論文文教を構成 4. 論文文教を構成 5. 論間まで表 6. 中間まの書筆状の 7. 結論ののまとまる方に関の 9. 結論のまとといるのは、 10. 文が表している。 11. 論文イトルの付けには、 12. タイトルの付けには、 13. 引用の構成 14. 論文統括	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究 本 13:45- 研究 本 3 ま 4 ま 5 ま 5 ま 6 ま 6 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックする。	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業のでは構成 2. 章立文の概要説明・確 3. 論文文執を構成 4. 論文教表とめ 7. 結論のの事筆とめ 7. 結論ののまととり 10. 文が表しままままである。 対応のでは、対応のでは、対応のでは、対応のでは、対応のでは、対応のでは、対応のでは、対応に、対応に、対応に、対応に、対応に、対応に、対応に、対応に、対応に、対応に	で評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究 本 13:45- 研究 本 3 ま 4 ま 5 ま 5 ま 6 ま 6 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7 ま 7	する。 ために実施 研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	他した課 から社会 30時間)	題等につ 会学研究指 と復習(30 in classro	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	よびメール等	等によって : 12単位は必	フィード	バックする。	Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・注意事項 事後学習 の時間 オフィスアワー 1. 授業ので 機大 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	て評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究 新 書 ま る ま る ま す 報告	する。 ために実施研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue	をした課から社会 30時間) sdays(i	題等につい 会学研究指 と復習(30 in classro 授業計画	いては、授業お i 導6 (各2単位) の時間)をするため のm) 画	はびメール等に至る合計の課題を指	またよって 12単位は必 3示する。	フィード	バックする。	Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi Alervi	担当者 ö ö ö ö ö ö ö ö ö ö ö ö ö
ルーブリック評価 課題や試験のフィーバック方法 履修条件・事後学習の時間オフィスアワー 1. 授業のでは構成 4. 論文では構成 4. 論文では、でのの事業とめでは、でのの事業とのでは、でいる。 1. はいますが、できまれば、できままは、できままは、できままは、できままは、できままは、できままは、できままは、できままは、できままは、できままは、できままは、できまままままままままま	て評価 ド 評価の 社会学 とそ 毎回授 12:45- 研究 新 書 ま る ま る ま す 報告	する。 ために実施研究指導1 業で予習(: 13:30 Tue: fense: Wri	をした課から社会 30時間) sdays(i	題等につい 会学研究指 と復習(30 in classro 授業計画	いては、授業お f導6(各2単位))時間)をするたる om)	はびメール等に至る合計の課題を指	またよって 12単位は必 3示する。	フィードの修であった。	バックする。	Aervi	担当者 Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö Ö

教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名↓	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective Research	参・出版社名1	Thought Clearing
参・著者名1	Harris, D.	参・ISBN1	978-099645604
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導	VI (大学院授業)		担当者	赤坂	東人	
#7 \\/ \\ \^ 4\\	2011~2022年	11~ 2022年度 吉備国際大学 大学院 社会学研究科			hi.		
配当学科・研究科	社会学博士3年			ナンバリン:			
必修・選択	選択	単位数 2単	拉位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	1,124,110		_	日・時限集中	
SDGs関連項目		い教育をみんなに/1((章) 16 ***********************************	0. 人や国の不平等	等をなくそう/ ?	16. 平和	と公正をすべ	ての人に
到達目標	を執筆する しているは 導する。 到達目標 目標は博: 学会発表、	士後期課程の最終指導でことはできない。多くのずだ。この授業において 士論文の執筆と博士号の 論文執筆を進めてきたりの経験は今後、研究者の	の学生が、小さなでも学生がこれまで の取得である。これ である。複数の	テーマに関する記 でに執筆した複数 れまで学生は研究 の論文をまとめて	倫文執筆を 牧の論文を 宅テーマを で博士論文	積み重ね。最終 一つにまとめ た でめ、研究計画	後にこれを一つに編集 専士論文となるよう指 画に従って調査研究、
授業概要	れらを執筆	内容は定めない。あく。 ・公表する際、様々な(トーリーライン(マク!	多正を施している(はずだ。この授業	業では論文	全体としての記	論理的整合性や、論証
アクティブラーニン	グのディスカッ・	ション/プレゼンテー?	ション				
内容	7127	/ 1 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	/ = /				
評価方法と割合	口頭試験	(100%) によって評価	話する。評価の過程	≧と結果を公表し	、なぜそ	のような評価に	なったのかを説明する
	ので、納得:	がいかない場合には申し	し出ること。				
ルーブリック評価			+ +/		- >>/ / / - >=		
課題や試験のフィー		問はメールで教員に送る。 ・**早に送せること				送する。疑問	・反論がある場合、で
バック方法 		く教員に返送すること。			- •	フ担人 人然/	カ川の計画も立ててい
履修条件・注意事項	研究 表観 インス と 。	を積み重ねておくこと。	判りかの事用で	界工冊人の判実/	か遅れてい	'る場合、う後'	の研究計画を立ててお
事前学習・事後学習		もなしに授業に出席する	るは考えられない。	<u></u> が、改めて記して	ておく。授	 業の際には「』	 込ず何らかの研究成
の時間			-				間程度の学修が必要と
	なる。						
オフィスアワー		(15:10~16:40) に	研究室(9309)に	て実施する。			
	7 () [1 2	授業計画		174257 00			担当者
1オリエンテーシ	ョン:倫理教育	(研究倫理に基づく責任	•			赤	 :坂
2.博士論文指導		(7)/20/11/2 = 1 1 1/2(12	,,,,,,,,,				坂
3.博士論文指導							坂
4.博士論文指導							···· / ································
5.博士論文指導							坂
6.博士論文指導							坂
7.博士論文指導							·····································
8.博士論文指導							坂
9.博士論文指導							· 坂
10.学会発表プレゼ	``~						···坂 ···坂
10.子云光表プレゼ 11.学会発表プレゼ							· 坂
11.子云光表ノレゼ 12.博士論文指導							· 坂 · 坂
12.博士論文指導							· 坂 · 坂
13. 博士	゜し、ゼン						· 坂 · 坂
14.副査の削でのノ 15.最終チェック	レビノ						· 坂 · 坂
16.定期試験							· 坂
							\^JX
教科書 数 . 書籍夕 1 博士	:号のとり方				≠ / ₇	山临牡夕 1	夕十层十尚山屿合
	:号のとり万 .フィリップス					出版社名1 ISBN 1	名古屋大学出版会
教・著者名1 E.M	.ノ1リツノ人				叙·	ISDNI	978-4815809232

教・書籍名2	教・出版社名2	
教・著者名2	教・ISBN2	
参考書		
参・書籍名1	参・出版社名1	
参・著者名1	参·ISBN1	
参・書籍名2	参・出版社名2	
参・著者名2	参·ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導VI (大学N	 完授業)		担当者	姜明才		
#7 \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	2011~ 2022年度 吉備国際	察大学 大学院 社	会学研究科	1 . 911 . 49			
配当学科・研究科	社会学博士3年			ナンバリング			
必修・選択	必須	位数 2単位		時間数 30		授業形態 演習	
年次	3年	開講期	2022年度秋学	期	曜日・	時限 集中講義	
SDGs関連項目	8. 働きがいも経済成トナーシップで目標を 8 ##### 12 5%	達成しよう 17 /l-ly-2-2-7t 19 mm and (1-2)	と技術革新の碁	≣盤をつくろう∕1	2. つくる	5責任・つかう責任/17.	パー
到達目標		- 資料の収集、先	行研究の精査			取り組む。博士論文の研究 5、発表の/ウーハウ、論理的思想	
授業概要	を完成させることをめ 第3年次においては、 基礎として、指導教授 要覧』に掲載されてい ず、この段階において 過程博士論文の締め ている大学院社会学研 査を経て、3月には博士	ざして、指導教 ひたすら、博士 および副指導教 る。現実の研究 も、研究の各所 切りは、例年1 次科博士論文審	授を中心にして 士論文の完成を 授の個人指導の 過程は、社会 カップの往復を繰 月中旬に設定さ 査会において素	て、研究指導 からめざす。それまでのもとに進められる 対研究法に書かれて り返すことも希でしれており、その時	研究指導V の作業論文、 。「博士学 いるような はない。 朗までに提	引し、博士課程在学中に博士 川に至るステップが設定されてい 、投稿論文、調査集計結果だ がで論文作成要領」は、『大 はマニュアル通りに進められとは原 出できれば、2月中旬に予定 ける。審査委員会(3名)によ	いる。 などを で学院 限ら
アクティブラーニン: 内容	グの ディスカッション/デ	·ィベート/プレ	ゼンテーション				ļ
円台 評価方法と割合	プレゼンテーション、	改ま内のと計論	、。の次劫 <i>+</i> 、ビ(400/) 終本の中代	庄(600/)1-	トマ炊入的に証圧	
	プレゼンテーション、	完衣内谷 こ 引 冊	1への安勢はと(40%)、冊又の元队	支(00%)にる	よつ(松石的に計画。	
ルーブリック評価 課題や試験のフィー バック方法	授業時間とオフィスア						
履修条件・注意事項	大学院は少人数の授業 加すること。また、復					出席して積極的な姿勢で討論 は厳禁。	前に参
事前学習・事後学習 の時間	とそ毎回討論に参加するた	めに予習の徹底	(毎回2時間)と	:講義後に復習(毎回] 2 時間)を	すること。	
オフィスアワー	研究室(9号館、9412)、	春は月曜日3時	限(13:30-15:0	0)、秋は月曜日2時	限(11:10-1	2:40)。	
		授業計画				担当者	
1.村エンテーション・研究倫 2.論文の報告、討論、 3.論文の報告、討論、 4.論文の報告、討論、	修正(各人) 修正(各人) 修正(各人)					姜 姜 姜	
5.論文の報告、討論、 6.論文の報告、討論、 7.論立対策の1.次字	修正(各人)					姜	
7.論文執筆の1次完 8.論文執筆の1次完 	了、修正(各人)					姜	
9.論文の中間確認と何 10.論文の中間確認と 11.論文の中間確認と	修正(各人)					姜 姜 姜	
12.論文の中間確認と 13.論文の最終確認と						姜	
14.博士論文の完成と 15.博士論文の完成と 16.全体のまとめと試	成果発表(各人)					姜 姜 姜	
	V/K/大					女	
教科書		1. > 1. =# >4 = 1	5 + = \frac{1}{2}	104 >	±/1		
教・書籍名1 研究テー する。	-マに応じて、予習ができる。	ように講義時に参	多考書・資料な 	とを適冝紹介・配布	五 教・出版	双仕名 】	

教・著者名1		教・ISBN1	
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
		教・13DNZ	
参考書			
参・書籍名1	評価される博士・修士卒業論文の書き方、考え方	参・出版社名1	同文館
参・著者名1	新堀 聴	参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	

授業科目名	社会学研究指導V	I (大学院授業)	担当者	メルヴィオ、ミカ・マルクス
[XX11111	E 3 0 1 2 3 1 6 1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,== H	
配当学科・研究科	社会学博士3年		ナンバリング	
 必修・選択	必修	単位数 2単位	時間数 30	授業形態 演習
 年次	3年	開講期 2022年度秋学	<u> </u>	曜日・時限 集中講義
	10. 人や国 10. 人や国 10. 本のである。 10. 本のである。 10. 本のである。 10. 本のである。	の不平等をなくそう/16.平和と公:	正をすべての人に	
SDGs関連項目	(\$) <u>2</u>	Ł		
到達目標	それぞれの専士論文を完成プが設定され が設定され 析して、研究 ける資料の探 につい て、 させ る必引き 会学研究科博	事士論文の執筆のための手法や文献レビ 政分野において研究を発展させ、研究 なさせることをめざして、指導教授を中心 にいる。第2年次においては、内外の配 課題の焦点を絞っていく。必要に応じ とし方、文献・資料の読み方、社会調査 具体的に指導をうける。研究課題が絞ら が生まれるかもしれない。専門分野の学 続いて努力する。研究の成果は、年度 計士課程発表会において報告して、批判	者として自立できる前心にして、社会学研究 関連文献を読み進め、 て、事例調査やフィーの企画とデザイン、それていく過程においた 会や研究会にも積極的 内に作業論文として、 をうける。その上で、	
授業概要	研究文献の精	読、批判的読解の演習を中心とする。		
アクティブラーニン	グのニ・コート	,,/¬! Li -		
内容	アイスカッシ	<i>、</i> ョン/プレゼンテーション		
評価方法と割合	授業への参加する。	1状況 (20%), 中間レポート (40%), 最	終試験(プレゼンテ-	-ションおよびレポート40%)によって評価
ルーブリック評価				
課題や試験のフィー バック方法	ド評価のために	実施した課題等については、授業およ	びメール等によってフ	フィードバックする。
履修条件・注意事項	社会学研究指	i導1から社会学研究指導6(各2単位)に	ニ至る合計12単位は必	修である。
事前学習・事後学習 の時間	とそ毎回授業で予	·習(30時間)と復習(30時間)をするための	D課題を指示する。	
オフィスアワー	12:45-13:30	Tuesdays (classroom).		
		授業計画		担当者
1. 授業の概要説明・				Merviö
2. 学術論文の検索				Merviö
3. 学術論文の収集				Merviö
4. 学術論文の読解				Merviö
5. 学術論文の解釈				Merviö
6. 学術論文について	の論者			Merviö
7. 中間まとめ(中間				Merviö
8. 学術論文のレビュ				Merviö
9. 学術論文のレビュ				Merviö
10. 学術論文のレビュ				Merviö
11. 学術論文のレビュ				Merviö
11. 子帆舗文のレビュ 12. 学術論文のレビュ				Merviö
13. 学術論文のレビュ				Merviö
14. 学術論文のレビュ	⊥一・픎乂判聿			Merviö
15. 全体総括				Merviö
16. 最終試験				Merviö
教科書 教・書籍タ1 From	Tonio to Dafarra	Writing a Quality Conial Colored Di	ortation in 10	数 · 中版社夕 1
	Topic to Defense: is or Less	Writing a Quality Social Science Disse	ะแสแบท เท 18	教・出版社名1 Helpful Little Books
IVIOIILI	13 UI LC33			

教・著者名1	O'reilly, A. E. et al.	教・ISBN1	978-1499604139
教・書籍名2		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ISBN2	
参考書			
参・書籍名1	Getting the Best of Your Dissertation: Practical Perspectives for Effective	参・出版社名1	Thought Clearing
日相石工 日相石工 日相石工 日本 日	Research	多 田瓜田石工	Thought oldaning
参・著者名1	Harris, D.	参・ISBN1	
参・書籍名2		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ISBN2	